

入札募集情報

令和6年6月5日公告

物件番号	西はりま第8号
物件名	消防吏員被服貸与品購入（単価契約）
納入場所	西はりま消防組合 消防本部及び各消防署
納入期限	令和7年3月31日（月）
担当課	西はりま消防本部 総務課
業務概要	消防活動に必要な被服等の購入
同等品	一部可
入札参加資格 （全項目に該当する者）	① 登録要件 ・入札参加申込期間終了までに 令和6・7年度 西はりま消防組合の入札参加資格名簿（物品・役務）に登録がある者
	② 住所要件 無
	③ その他 ・公告日から開札日までの間、西はりま消防組合、構成市町又は兵庫県から指名停止を受けていない者 ・地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4に規定する入札参加者の資格制限に該当しない者 ・会社更生法（平成14年法律第154号）に基づく更正手続開始の申立て及び民事再生法（平成11年法律第225号）に基づく再生手続開始の申立てがなされていない者。ただし、それぞれの申立てがなされた者であっても、公告日の前日までに裁判所から更生又は再生計画の認可決定を受けたものはこの限りでない。 ・警察当局から、暴力団員が実質的に経営を支配する者又はこれに準ずる者として、契約等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。
予定価格	有 / 事後公表
最低制限価格	無
入札方法	郵便方式（一般書留・簡易書留郵便に限る。 <u>※持参及び普通郵便不可</u> ） ※任意の封筒表面に添付様式（別紙2）を糊付けし、入札書等を封入すること。 事後審査型（開札後に入札参加資格の審査を行い、落札者を決定するので最低価格入札者であっても落札者とならない場合がある。）

入札に関する質問 及び同等品確認	期日	令和6年6月25日(火)16時まで
	方法	質問書(別紙3)により、西はりま消防本部総務課(FAX0791-72-6119)へFAX送信。送信後、送信した旨の確認電話をすること。(TEL0791-76-7119) 同等品確認については、同等品確認書(別紙4)及び同等品候補物品を西はりま消防本部総務課へ持参し、立会にて確認すること。
質問及び同等品確認 に対する回答	期日	令和6年6月27日(木)
	方法	西はりま消防組合ホームページに掲載
入札書の提出	期日	令和6年7月3日(水)17時必着 (※提出期日までに入札書が届かない場合は、無効とします。)
	提出書類	・入札書(別紙1) 入札金額は、消費税を含みません。任意の封筒に封入封かんのこと。 ・内訳書(任意様式) ※必要な場合のみ
	提出先	〒671-1692 兵庫県たつの市揖保川町正条279番地1 西はりま消防本部 総務課
開札	日時	令和6年7月4日(木)9時30分
	場所	西はりま消防本部3階
	その他	代理人が立会いする場合は、委任状を持参ください。
同額入札の場合の落札決定	<p>開札の結果、落札となるべき同額入札者が2人以上あるときは、入札者本人又は代理人(委任状が必要)が、その場でくじ引きにより落札者を決定する。</p> <p>ただし、同額入札者(代理人)の一部又は、全員が入札会場にいない場合は、7月5日(金)9時30分から西はりま消防本部総務課においてくじ引きを実施し落札者を決定する。</p> <p>なお、くじ引きに参加できない同額入札者(代理人)があるときは、当該入札事務に関係のない西はりま消防本部職員が代わってくじを引くこととする。</p>	
保証金	入札保証金	免除
	契約保証金	契約金額の10%以上 ただし、契約規則第30条に該当する場合は免除。
支払条件	前金払	無
	部分払	無

注意事項	<ul style="list-style-type: none">・ 関係法令等、入札に関する条件を熟知のうえ入札に参加のこと。・ 受注者又はその下請業者が、暴力団員等から不当介入を受けたにもかかわらず、警察への届出、発注者への報告等を怠ったときは、指名停止の対象となる。・ 別紙「入札に関する注意事項」参照
その他	<ul style="list-style-type: none">・ 入札執行回数 2回以内・ 開札の後、予定価格の制限の範囲内で最低の価格を持って入札をした者を落札候補者とし、当該落札候補者の資格審査を行い、入札参加資格を満たしている場合は、落札を決定する。・ 資格審査の結果、当該落札候補者が入札参加資格を満たしていない場合は、落札者が決定するまで、次順位者から順次資格審査を行う。

物件(業務)番号	西はりま第8号
----------	---------

被服類品名別入札書

令和6年7月4日

西はりま消防組合

住 所 _____

管理者 山本 実様

商号又は名称 _____

代表者職氏名 _____ 印

物 品 名	予定数量 ※1	1着(個)あたりの 単価(税抜き)	備 考	同等品	物 品 名	予定数量 ※1	1着(個)あたりの 単価(税抜き)	備 考	同等品
冬制服(上)男	2	円	別添仕様書のとおり	不可	訓練靴	29	円	別添仕様書のとおり	不可
〃 (下)男	7	円	〃	不可	編上げゴム長靴	25	円	〃	不可
冬制服(上)女	0	円	〃	不可	革手袋	155	円	〃	可
〃 (下)女	0	円	〃	不可	ケブラー手袋	35	円	〃	可
夏制服(上)男	10	円	〃	不可	制服バンド(冬)	5	円	〃	不可
〃 (上)女	0	円	〃	不可	制服バンド(夏)	10	円	〃	不可
〃 (下)	8	円	〃	不可	活動服バンド	51	円	〃	不可
冬活動服(上)	49	円	〃	不可	救助服バンド	7	円	〃	不可
〃 (下)	59	円	〃	不可	救急服バンド	25	円	〃	不可
夏活動服(上)	73	円	〃	不可	ネクタイ	7	円	〃	不可
〃 (下)	87	円	〃	不可	ワッペン(制服)	6	円	〃	不可
冬救急服(上)	27	円	〃	不可	ワッペン(救命士)	10	円	〃	不可
〃 (下)	19	円	〃	不可	白手袋	17	円	〃	可
夏救急服(上)	24	円	〃	不可	階級章(樹脂)	48	円	〃	可
〃 (下)	26	円	〃	不可	階級章(布)	120	円	〃	可
救助服(上)	12	円	〃	不可	ヘッドライト	24	円	〃	不可
〃 (下)	14	円	〃	不可	アタッチメントバンド	21	円	〃	不可
Tシャツ	207	円	〃	可	ゴーグル	—	円	〃	不可
冬制帽(男)	4	円	〃	不可	墜落制止用器具	20	円	〃	不可
冬制帽(女)	0	円	〃	不可	雨衣	5	円	〃	不可
夏制帽(男)	3	円	〃	不可	防寒ジャンパー	12	円	〃	不可
夏制帽(女)	0	円	〃	不可	警笛	41	円	スネーク付	不可
保安帽	49	円	〃	不可					
アポロキャップ	96	円	〃	不可					
短靴(男)	24	円	〃	不可					
短靴(女)	0	円	〃	不可					
半長靴	23	円	〃	不可					

※1 予定数量は、過去3年の購入実績等に基づいた参考数値であり、購入を確約するものではありません。

別紙2

入札書の送付方法

封筒オモテに、下記様式(キリトリセン内)を貼りつけてください。

キリトリセン

〒671-1692

兵庫県たつの市揖保川町正條279番地1

西はりま消防本部 総務課 宛

入札書在中

①	物件番号	西はりま第8号	消防組合受付印 何も記入しないでください。
②	開札日	令和6年7月4日	
③	商号または名称		
④	代表者氏名		

③④は入札参加者が必ず記入すること。

※簡易書留で郵送すること。

(別紙3)

質 問 書

社名			
担当者			
電話		FAX	
E-mail			

【質問】

件名	西はりま第8号 消防吏員被服貸与品購入 (単価契約)

同等品で対応される場合の手続きについて

西はりま消防組合被服類品名別入札書の同等品欄で「可」と表示のある物品については、仕様書に記載した例示品のほか、それと同等以上の品物（以下「同等品」という。）による応札が可能です。

同等品による応札の場合は、以下の手続きにより事前に同等品承認を受けてください。

1 同等品の定義

同等品とは、規格・品質が例示品と同等以上であるものをいいます。なお、仕様書の規格には記載されていない事項を満たさない物品について、同等品と認められない場合があります。

2 同等品確認の方法

同等品の承認を受けようとする方は、「同等品確認書」（別紙4）に次の資料等を添付の上、西はりま消防組合総務課に同等品候補物品を持参し、立会にて同等品確認をしてください。

○同等品候補の掲載されたカタログ、価格等の資料（コピー可）

3 同等品確認結果の通知

指定する日時までに提出された同等品確認書については、同確認書の「同等品確認結果」欄に、[認定・不認定]の別を記載して、同等品に対する回答期日までに組合ホームページで回答します。

同等品確認書

件名	西はりま第8号 消防吏員被服貸与品購入（単価契約）
----	---------------------------

品名	例示品	同等品候補		確認	
	メーカー・型番・規格等	メーカー・型番・規格等	税抜価格	認定	不認定

上記同等品について、確認をお願いします。

令和6年 月 日

住 所
会 社 名
代表者名 ⑩

- ※西はりま消防組合被服類品名別入札書の同等品欄で「可」とあり、同等品にて入札に参加する場合は、必ずこの確認書により事前確認を受けてください。
- ※同等品候補のカタログを必ず添付してください。
- ※「同等品候補」欄には貴社で同等品の認定を受けようとする物品のメーカー・型番・規格等及び税抜価格（カタログ表示等のメーカー希望小売価格。ただし、オープン価格等定価のないものについては、通常の流通価格を参考価格として記入）を記入してください。
- ※「確認」欄は、審査の結果同等品と認定の場合は「認定」欄に、不認定であれば「不認定」欄に○をし、組合ホームページ質疑回答欄にて回答します。

委任状

私は、_____を代理人と定め下記の
権限を委任します。

記

_____の
入札及び見積に関する一切の権限

受任者 使用印鑑	
-------------	--

令和 年 月 日

西はりま消防組合
管理者 山本 実 様

住 所

商号又は名称

代表者氏名

印

入札に関する注意事項

この案内は、郵便方式入札の参加に当たり、注意事項を記載していますので、必ずお読みください。

1 関係法令

地方自治法、同施行令、西はりま消防組合契約規則、その他指示事項を熟知のうえ、入札に参加してください。

2 入札書等の作成要領

入札書等の作成に当たっては、次の事項に留意のうえ作成してください。記載誤り、押印漏れ、内容の不備等がある場合は、入札無効となるので十分ご注意ください。

- (1) 入札書等は、黒のペン又はボールペンで記入してください。
- (2) 入札書の入札者欄は、入札参加者の住所、商号又は名称、当該事業所の代表者職氏名（支店等で登録している場合は、必ずその支店長等の氏名を記載押印し、本社の代表取締役等の氏名は記載しないで下さい。）を記載し押印してください。
- (3) 入札書の日付は、**入札（開札）の年月日**を記載してください。
- (4) 記載事項を訂正するときは、誤字に二重線を引き、上部に正書し、訂正箇所を押印してください。ただし、**入札金額の訂正は一切認めません。**
- (5) 入札書の入札金額には、**消費税**を含めないでください。

3 入札書等の提出

- (1) 入札書等は、指定された期日までに郵送にて提出してください。
- (2) 提出方法は、一般書留郵便及び簡易書留郵便で提出してください。
持参及び普通郵便は受付できません。
- (3) 提出する際に使用する封筒は、任意の封筒とし、添付の様式を封筒の表面に糊付けし ①入札書、②その他特に提出を求められた書類を封入封かんしてください。
- (4) 1枚の封筒には、1件分の必要書類しか入れることはできません。

4 入札の辞退（指名競争入札・事前審査型一般競争入札の場合のみ）

入札を辞退される場合は、入札日の前日までに入札辞退届を、郵送（普通郵便可）又は直接提出してください。

5 入札の無効

次の各号のいずれかに該当する入札は無効となります。

- (1) 入札書等の必要書類が同封されていない入札
- (2) 入札書に記名押印のない入札
- (3) 件名、入札金額、日付、入札者の住所、商号又は名称、代表者職氏名の記載のない入札又は不明確な入札
- (4) 誤字、脱字等により意思表示が不明瞭であるもの又はこれを訂正して押印のない入札
- (5) 入札金額を訂正した入札
- (6) 予定価格を超える価格でした入札（予定価格を事前公表した場合）
- (7) 談合その他の不正行為によって行われたと認められる入札
- (8) 入札参加資格審査の結果、入札参加資格のない者がしたと認められる入札
- (9) 虚偽の申請により資格を得た者のした入札
- (10) 入札に関する条件に違反した入札

6 落札者の決定

事後審査型入札においては、開札の後、申込者のうち、予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって入札をした者を落札候補者とし、当該落札候補者の資格審査を行い、入札参加資格を満たしている場合は、落札を決定します。

資格審査の結果、当該落札候補者が入札参加資格を満たしていない場合は、落札者が決定するまで、次順位者から順次資格審査を行います。

落札者を決定した時は、その旨を当該落札者に通知するとともに、契約手続きについて説明を行います。通知を受けた者は、契約手続きについて担当職員の指示に従ってください。

仕 様 書

消防吏員（男性）用冬制服

【NK-2201】

西はりま消防組合

【上 衣】

1 型式 [EM755050]

ダブル式衿（飾り穴付き）6個釦・2つ掛け。胸ポケット付き。雨蓋付腰ポケット。階級章用面ファスナー付き。袖口縞縁付き（金銀線）。背抜き裏仕立。

2 材料

区分	品番	品質	摘要
表 地	NK-2201	日本毛織サージ毛 100% 36/2×36/2	表地、衿ポケット、 身返し
袖 裏		レーヨン 100%	袖裏
袋 地		4号スレーキ（綿 100%）	ポケット袋
カ ラ ー ク ロ ス		ウール混	主衿裏側
釦		裏面落し穴付、 厚み約 6 mm	前身頃 6 個
袖 口 芯		綿（接着芯）	袖口
テ ー プ		綿平織りテープ	前身頃端、返しの衿縁
片 布		指定片布	
衿 吊		指定の衿吊（ニッケ）	

3 縫製条件

(1) 縫製

糸調子は、上下糸共ツレ、タルミのないように最良の調子で縫い、返し針を完全にすること。

(2) 裁断

型入れは布目を正しく通し、全体を同一の反でとり、番号又は記号を付けるなど十分に留意すること。

(3) 仕立て

優美なスタイルと着崩れのない上級仕立てとすること。

(4) 仕上げ

糸くずを取り、丁寧にプレスすること。

4 縫製

(1) 主衿

地衿に芯を添え、ルイスミシン刺し。表衿縫代は地衿にシツケ止めし、表衿は、見返し部分に付け合わせとすること。

(2) 衿吊り

衿中央に縫付ける。

(3) 胸ポケット

上前に隠しポケット芯入り、口幅 11.5cm（標準）深さ 14cm とすること。

- (4) 腰ポケット
左右雨蓋付。
- (5) 返し止め縫い
上方から内ポケット側まで星飾りを入れること。
- (6) ダーツ
胸1本、裏も同様。ただし表ダーツは、縫い割り、裏ダーツは片倒しとする。
- (7) 見返し
衿付けから裾まで継目無しとすること。
- (8) 背縫い
背抜きにつき、脇断ち目はカラゲミシンで始末すること。
- (9) 肩縫い
表地割り縫いとすること。
- (10) 袖口
袖芯（接着芯）幅11cmの位置に縞縁を縫着する。また、階級に応じて金線又は、銀線を縫着すること。
- (11) 階級章台
階級章用B面ファスナーを下前身頃の指定の位置に付けること。
- (12) 片布
下前内ポケット口下に付けること。
- (13) 織ネーム
メーカー標示マークを、下前内ポケット口上に縫着すること。

【ズボン】

1 型式 [EM755060]

長ズボン、腰ベルト（3.5cm）付、ワンタックとする。アジャスター機能付。天狗付きファスナー式。左右後ろポケット片玉縁蓋無し、左側のみ釦止め。斜めポケット式。

2 材料

区 分	品 番	品 質	摘 要
表 地	NK2201	日本毛織サージ毛 100% 36/2×36/2	表地、ループ等
腰 裏		腰裏芯入り（滑り止め付）	腰裏
袋 地		ポリエステル65%、 レーヨン35%	ポケット袋
ファスナー		YKK ミトラ（黒）	前立
釦		（黒）	後ろポケット 前立部

3 縫製条件

(1) 縫製

糸調子は上下糸共ツレ、タルミのないように最良の調子で縫い、返し針を完全にする事。

(2) 裁断

型入れは布目を通し、前身後身頃は同じロット生地を使用すること。

(3) 仕立て

優美なスタイルと着崩れのない上級仕立てとする。

(4) 仕上げ

糸くずを取り、丁寧にプレスすること。

4 縫製

(1) 腰ベルト

縦地使用で指定芯入りとすること。

(2) 前タック

左右各1本を外向きに付ける。

(3) 時計ポケット

斜めポケット右内側袋向当に張り付けること。

(4) 脇ポケット

左右に各1個とする。

(5) 後ポケット

左右各1個、片玉縁、雨蓋無し。左ポケットのみ釦止めとする。

(6) 後ダーツ

2本とし、地縫い片倒しとする。ウエスト100cm以上1本可。

(7) 相引き・内股・しりぐり

裁ち目はオーバーロック。しりぐり、内股は、ミシン2回縫いとすること。しりぐりは、糸切れを防ぐ為に伸ばして地縫いすること。

(8) 天狗・前立て

裁ち目はオーバーロック。天狗先は、釦止めとすること。

(9) バンド通し

7本。上端より0.5cm下がり、幅8mm、長さ(有効長)4.5cmとする。

(10) 腰裏

指定腰裏とし、表地と無理の無いように注意して所定位置に付けること。

(11) シック

棒シック長さ10cm(標準)を付ける。

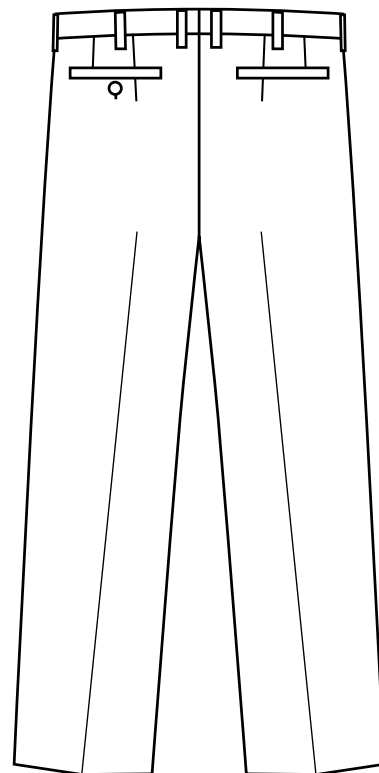
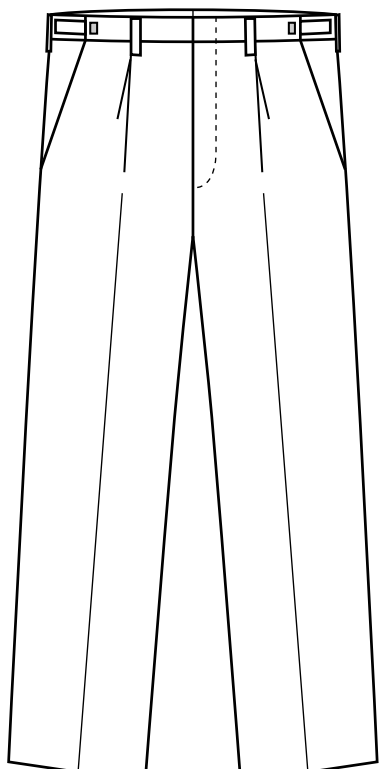
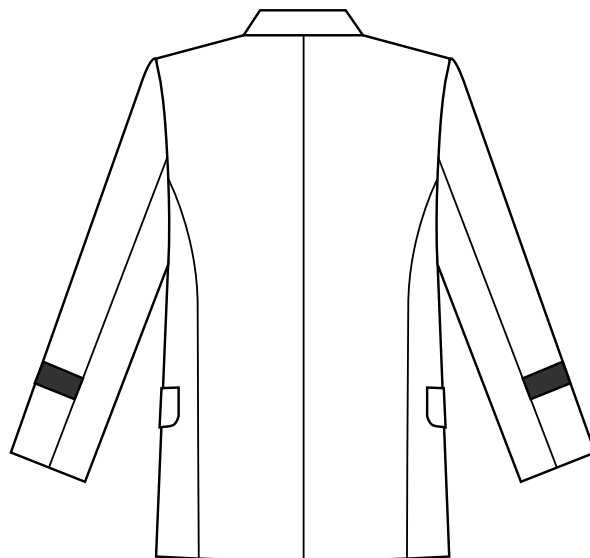
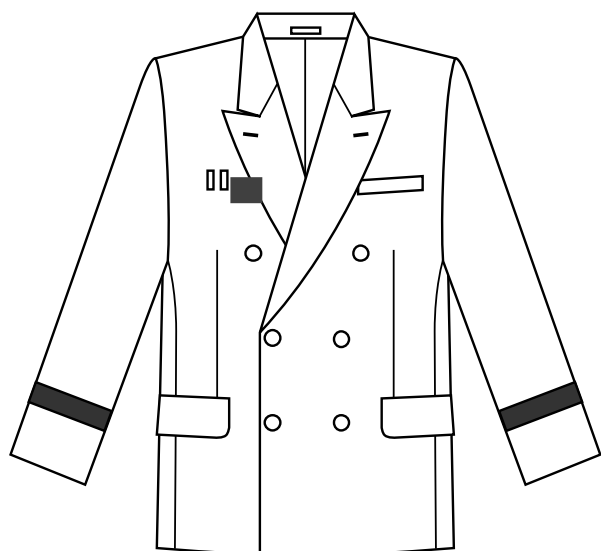
(12) 裾

幅標準、23~24.5cmとする。

(13) 靴ずれ

表地反物の耳を利用する。幅約2cm、長さ15cm程度とする。

<概要図>



仕 様 書

消防吏員（女性）用冬制服

【< 4 4 1 > C】

西はりま消防組合

1 材料

区 分	仕 様	用 途
表 生 地	< 4 4 1 > C / # 1 ピケ 毛 30% 再生ポリエステル 70%	表地、身返し、 衿
裏 生 地		胴裏
袖 裏	東レ 303-20	袖裏
袋 地		ポケット袋
前 芯	キュプラ 100%	前前面
カ ラ ー ク ロ ス	4号スレーキ綿 100%	主衿裏側
片 綿	接着芯	両肩
腰 裏	フェルティス	腰裏
ヒ ザ 当	良質の毛芯入肩綿	ヒザ当
フ ァ ス ナ ー	インサイドベルト	前たて
釦	ISA防縮加工品 YKKミトウ (黒)	前身6個 後ポケット
糸	上衣 指定金属釦 ズボン 良質のもの (黒)	前たて部
衿 吊		衿吊
片 布	テトロン糸 50番 ニッケ表示衿吊 様式随意	

2 型式

(1) 上衣

両前型、剣衿、6ヶ釦2ヶ掛、胸箱ポケット、両腰蓋付ポケット、階級章用面ファスナー付き、袖口縞縁付 (金銀線)、背抜き仕立て、センターベンツ

女性用は、打合せを右上前とするほかは、男性と同様

(2) ズボン

長ズボン、腰ベルト (3.0cm) 付でタックはワンタック、脇ゴム入ファスナー式、左右後ポケット片玉縁蓋なし、左釦止め、脇斜切ポケット

3 縫製条件

(1) 裁縫

糸調子は、上下糸共ツレ、タルミのないように最良の調子で縫い、返し針

を完全にする。

(2) 裁断

型入れは、布目を正しく通し、全体を同一の反であるようにして、番号又は記号を付ける等、十分に留意すること。

(3) 仕立

優美なスタイルと着崩れのない上級仕立とする。

(4) 仕上

糸くずを取り、丁寧にプレスすること。

4 縫製要領

(1) 上衣

ア 主衿

地衿に芯を添え、ミシン刺し、表衿縫代は地衿にシツケ止めし、表衿は身返し部分に付合わせとし隠しミシン縫いをする事。

イ 衿吊り

中央に縫付ける。

ウ 胸ポケット

前適当位置に箱かくしポケット箱芯入り、口幅 10cm (標準)、深さ 15cm、箱芯幅 2.5cm、共布向当付縫割り向当袋共割ミシン押さえすること。

エ 腰ポケット

左右雨蓋付、口は両玉縁、口両端はミシン閉止め、蓋裏当布は裏地使用し、口幅 14cm、深さ 18cm (標準)、雨蓋幅 5cm とする。

オ 内ポケット

左右適当な位置に蓋付、釦止め口は片玉縁とし、口幅 12.5cm、深さ 15cm、向当布幅 4cm とする。

カ 身返し

衿付けから裾まで縫目無し、身返し幅は第一釦位置で 10cm、裾で 8cm 以上とする。

キ 背縫い

総裏とする。

ク 肩縫い

表地割縫とする。

ケ 肩綿

所定の位置に芯裏の間にとじ付けること。

コ 裏

前身、背裏は総裏とする。裾は表地折返し 4 cm 以上とし、裾上りより 2.0cm とする。

サ 袖

地縫い割り、裏地と中心とじをする。袖口より 10cm の位置に縞縁を逢着する。階級により金線又は銀線を逢着する。

シ 袖付け

山袖にそってたれ綿を縫付ける。縫付けは入念に、袖付け線は美しく無理のないように、袖は逃げないように前付目にする事。

ス 袖裏

袖付け、中とじは入念にする事。

セ 階級章止め

上前の指定の位置につける。

ソ 片布

上前の指定の位置につける。

タ バッチ穴

なしとする。

(2) ズボン

ア 腰ベルト

仕上がり 3.0cm とし、縦地使用で指定芯入りとする事。(脇ゴム入)

イ 前タック

左右各 1 本を外向きに付ける。深さ 2cm (標準) とする。

ウ ヒザ当

腰飾りミシンから約 70cm のヒザ当を付け、裾は耳又は 3 つ巻もしくはヒートカットとする。

エ 脇ポケット

左右に各 1 個斜ポケット上部より 4.5cm (標準) 下がり、口幅 14cm、深さ、口下端より 13cm (標準)。両門止め、表地向当布幅 4cm 以上、袋は縫返し 5mm 飾り押さえとする。

オ 後ポケット

左右 1 個、片玉縁、天蓋なし、左釦止め。口幅 12.5cm、深さ 17cm、口両端門止め、表地向当付 3 cm 以上とする。

カ 後ダーツ

2 本とし、地縫い片倒しとする。ウエスト 100cm 以上 1 本可。

キ 相引、内股、しりぐり

断目はオーバーロック、しりぐり、内股はミシン 2 回縫いとする事。特にしりぐりは糸切れを防ぐために伸ばして地縫いすること。

ク 前たて

断目はオーバーロック、芯入り裏は表地使用。ファスナー止め。

ケ バンド通し

5 本、上端より 0.5cm 下がり、幅 1.0cm、長さ (バンド通し部分) 4.5cm とする。

コ 腰裏

共生地とする。

サ シック

棒シック長さ 8 cm (標準) を付ける。

(3) その他

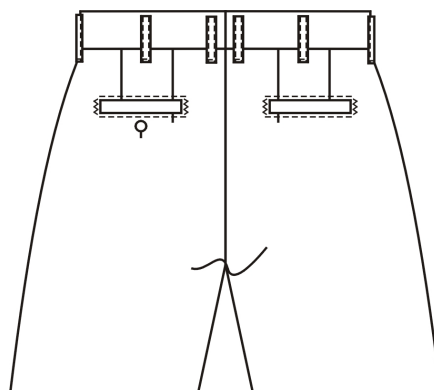
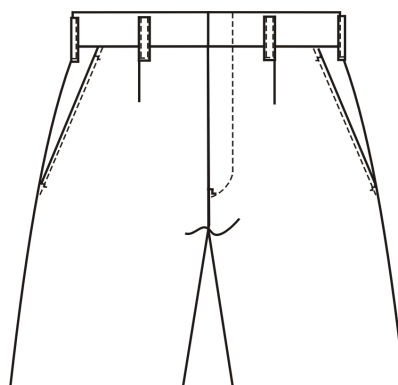
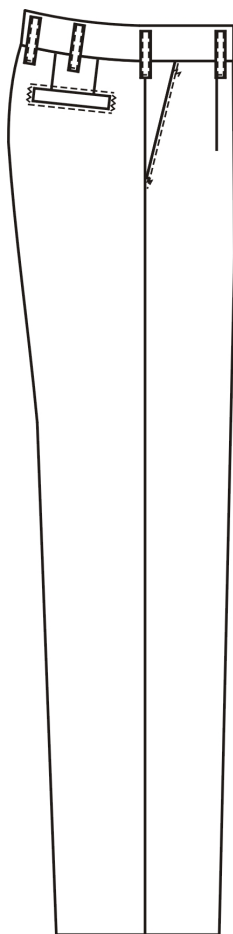
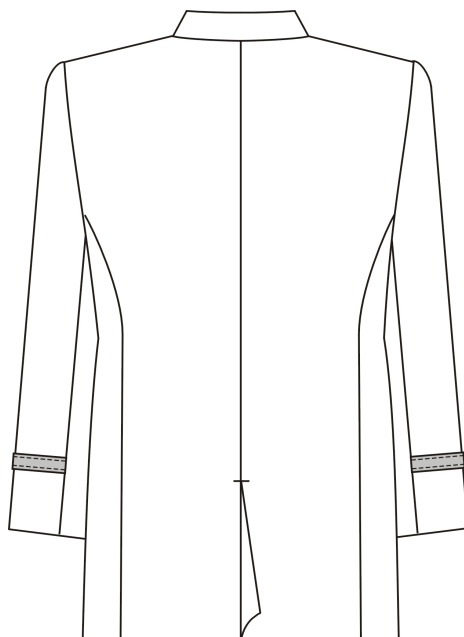
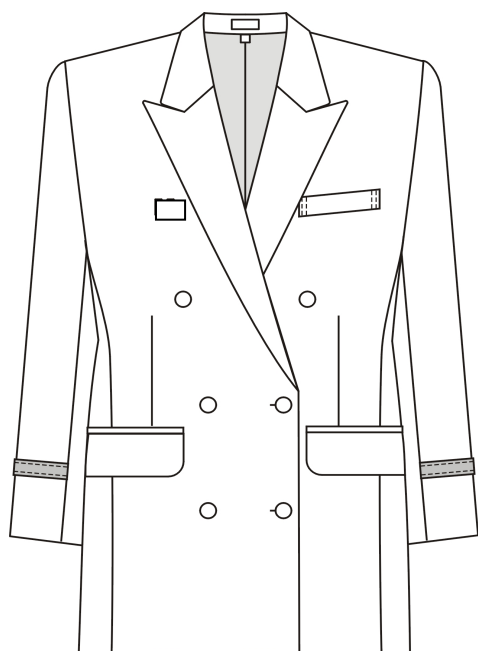
採寸については個人毎に採寸するものとし、細部については見本参照のこと。

サイズ表

女性上衣					
(上り寸法) (単位：c m)					
	着丈	肩巾	袖丈	B上り	中胴上り
7号	65	41	55	95	81
9号	66	42	56	98	84
11号	66	43	56	101	87
13号	67	44	57	104	90
15号	67	45	57	107	93
17号	68	46	58	110	96
19号	68	48	58	115	101

女性ズボン				
(単位：c m)				
	W	H上り	股上	裾巾
7号	60	97	28	21
9号	63	100	29	21.5
11号	66	103	29	22
13号	69	106	30	22.5
15号	72	109	30	23
17号	75	112	31	23.5
19号	78	115	32	24

< 概略図 >



仕 様 書

消防吏員用夏制服（半袖）
【上衣（男性用）TX5044K】

西はりま消防組合

1 型式

カッター衿型前立ボタン式、半袖、左右胸ポケット雨ブタ付、襟裏配色

2 表生地材料

(1) 主生地

ア 品番	(半袖) TX5044K
イ 品名	東レ トリコット
ウ 生地番	#21593
エ 色相	SX-B
オ 混紡率	<u>ポリエステル 95%</u> <u>キュプラ 5%</u>

(2) 配色生地

ア 生地番	FT2020
イ 品名	東レ 先染め・抗菌消臭トロピカル
ウ 色相	c/# TMA200
エ 混紡率	<u>再生ポリエステル 55.0%</u> <u>ポロエステル 10.0%</u> <u>レーヨン 25.0%</u> <u>ナイロン 10.0%</u>

(3) 付属材料

ア 衿芯	キンセンBE型プレス芯 (主衿・衿台)
イ 縫糸	テトロン糸 50番
ウ 釦	ポリエステル 15mm 上衣：肩章 ズボン：尻ポケット、天狗
エ マジックテープ	25mm×30mm (胸ポケット口)、25mm×30mm (フラップ)、左袖 ワッペン台座
オ ファスナー	ズボン前立
カ 前カン	前止め
キ 衿吊	指定のもの
ク 片布	指定のもの
ケ サイズネーム	指定のもの
コ 品質表示	指定のもの

3 条件

(1) 針数

3 cm 間で地縫は 11 針以上、飾りは 13 針以上、オーバーロックは 8 針以上とする。

(2) 穴かがり

上衣はネムリ穴とする。上衣の前立はなしとし、肩章は横、ズボンの後ポケット

はタテ、ハトメ穴とする。

(3) 釦付

機械付又は手付とする。手付は2本の糸を1個の穴に3～4回通し根巻は3回以上とする。

(4) 裁縫

糸調子は上下とも、ツレ、タルミの無いようにし、返し針を完全にすること。縫糸はテトロン糸を使用のこと。

4 縫製要領

(1) 主衿

テトロン芯を入れ、衿巾は中央で8.0cm（衿台巾4cm）衿先巾8.0cmとする。裏襟部分に配色生地を施す。

(2) 身頃

裾部はラウンドカットとし、3ツ巻き縫いとする。左右にフラップ付のポケットを逢着する。下前身頃フラップに上部に階級章台を逢着する。

(3) 肩当

背ヨーク部は、2枚仕立てはさみ縫いとし、6mmのステッチをかける。巾は中央で7cmとする。

(4) 後身頃

裾部はラウンドカットとし、3ツ巻き縫いとする。

(5) 衿吊

衿吊は、所定のものを衿付中央に、はさみ縫付けとする。

(6) 胸ポケット

胸ポケットは左右2ケでフラップ付とする。左右フラップには指定の芯地を使用し、タテ25mm、ヨコ30mmマジックテープを逢着する。フラップは中央で高さ6.5cm、端部で高さ4.5cm、横巾14.5cmとする。ステッチは周囲6mmとする。胸ポケットは横巾13cm、深さ14.5cm、中央部ヒダ奥1.5cmのボックスプリーツを設け上部にタテ25mm、ヨコ30mmのマジックテープを左右1個逢着する。

(7) 前立

上前部は巾3.5cmとして左右6mmのステッチを掛け、釦穴を5箇所とする。下前部は巾2.5cmの3つ折りし、台衿より裾までステッチを掛け15mmの釦を5個逢着する。

(8) 肩章

巾は付け根で5cmとし、クロスステッチを掛け、端を袖付け時に縫い込む。

先部は巾4cmとし台衿付け根部から1.0cm下がった位置とする。周囲に6mmのステッチを掛ける。先部には釦止め用のねむり穴をあける。

(9) 肩縫

片倒しくるみ縫いとする。

(10) 脇縫

本縫し更にオーバーロックをかける（インターロックミシン可）

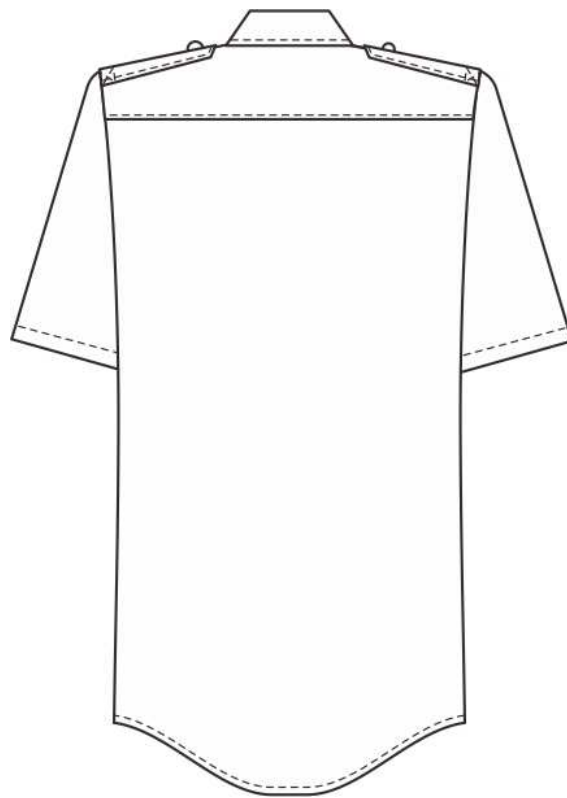
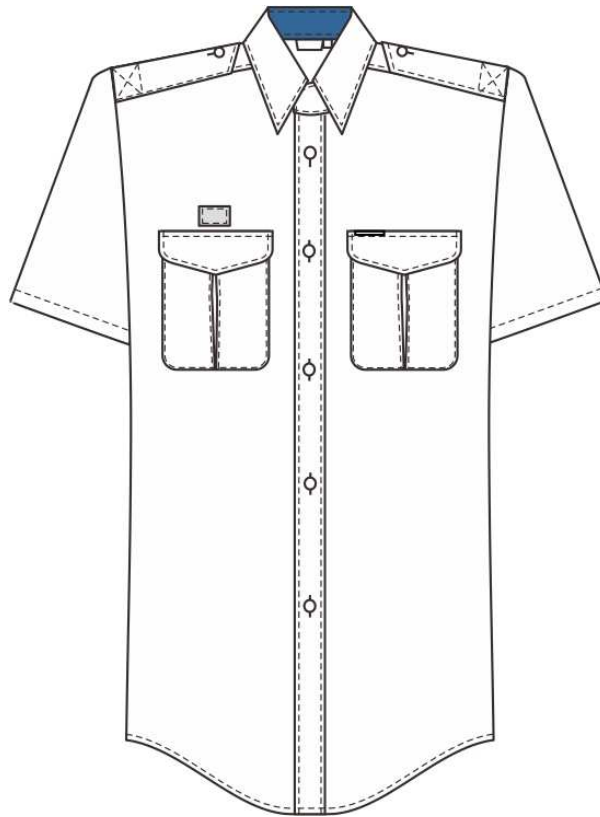
- (11) 袖縫
袖の縫合せは本縫し、更にオーバーロックをかける（インターロックミシン可）
- (12) 袖付縫
本縫し、更にオーバーロックをかける（インターロックミシン可）
- (13) 袖口
1枚袖で袖口は2cm、3ツ折り始末とする。
- (14) 片布
所定の上前胸ポケット裏面中央に縫付け、その下クロスラベルを縫付ける。
- (15) サイズネーム
衿付中央の下縁にはさみ縫付ける。
- (16) 階級章棚
下前身頃雨ブタ付根中央上部に共生地にてループを縫付ける。

5 サイズ表

(単位：cm)

上衣	着丈	胸囲	肩巾	袖丈	ネック
AS	77	95	42	24	37
AM	79	100	43	25	38
AL	81	105	45	25	39
ALL	83	110	47	26	40
A3L	85	115	48	27	42
BS	77	105	43	25	38
BM	81	110	45	26	40
BL	81	115	47	26	42
BLL	83	120	49	26	45
B3L	85	125	51	27	47
B4L	85	135	54	27	49
B5L	85	145	56	27	51

絵図面



仕 様 書

消防吏員用夏制服（半袖）
【上衣（女性用）TX5044KW】

西はりま消防組合

1 型式

カッター衿型前立ボタン式、半袖、左右胸ポケット雨ブタ付、襟裏配色、女性打合せ

2 表生地材料

(1) 主生地

ア 品番	(半袖) TX5084K
イ 品名	東レ トリコット
ウ 生地番	#21593
エ 色相	SX-B
オ 混紡率	<u>ポリエステル 95%</u> <u>キュプラ 5%</u>

(2) 配色生地

ア 生地番	FT2020
イ 品名	東レ 先染め・抗菌消臭トロピカル
ウ 色相	c/# TMA200
エ 混紡率	<u>再生ポリエステル 55.0%</u> <u>ポロエステル 10.0%</u> <u>レーヨン 25.0%</u> <u>ナイロン 10.0%</u>

(3) 付属材料

ア 衿芯	キンセンBE型プレス芯 (主衿・衿台)
イ 縫糸	テトロン糸 50番
ウ 釦	ポリエステル 15mm 上衣：肩章 ズボン：尻ポケット、天狗
エ マジックテープ	25mm×30mm (胸ポケット口)、25mm×30mm (フラップ)、左袖 ワッペン台座
オ ファスナー	ズボン前立
カ 前カン	前止め
キ 衿吊	指定のもの
ク 片布	指定のもの
ケ サイズネーム	指定のもの
コ 品質表示	指定のもの

3 条件

(1) 針数

3 cm 間で地縫は 11 針以上、飾りは 13 針以上、オーバーロックは 8 針以上とする。

(2) 穴かがり

上衣はネムリ穴とする。上衣の前立はなしとし、肩章は横、ズボンの後ポケットはタテ、ハトメ穴とする。

(3) 釦付

機械付又は手付とする。手付は2本の糸を1個の穴に3～4回通し根巻は3回以上とする。

(4) 裁縫

糸調子は上下とも、ツレ、タルミの無いようにし、返し針を完全にすること。縫糸はテトロン糸を使用のこと。

4 縫製要領

(1) 主衿

テトロン芯を入れ、衿巾は中央で8.0cm（衿台巾4cm）衿先巾8.0cmとする。裏襟部分に配色生地を施す。

(2) 身頃

裾部はラウンドカットとし、3ツ巻き縫いとする。左右にフラップ付のポケットを逢着する。下前身頃フラップに上部に階級章台を逢着する。

(3) 肩当

背ヨーク部は、2枚仕立てはさみ縫いとし、6mmのステッチをかける。巾は中央で7cmとする。

(4) 後身頃

裾部はラウンドカットとし、3ツ巻き縫いとする。

(5) 衿吊

衿吊は、所定のものを衿付中央に、はさみ縫付けとする。

(6) 胸ポケット

胸ポケットは左右2ケでフラップ付とする。左右フラップには指定の芯地を使用し、タテ25mm、ヨコ30mmマジックテープを逢着する。フラップは中央で高さ6.5cm、端部で高さ4.5cm、横巾14.5cmとする。ステッチは周囲6mmとする。胸ポケットは横巾13cm、深さ14.5cm、中央部ヒダ奥1.5cmのボックスプリーツを設け上部にタテ25mm、ヨコ30mmのマジックテープを左右1個逢着する。

(7) 前立

上前部は巾3.5cmとして左右6mmのステッチを掛け、釦穴を5箇所とする。下前部は巾2.5cmの3つ折りし、台衿より裾までステッチを掛け15mmの釦を5個逢着する。女性打合せとする。

(8) 肩章

巾は付け根で5cmとし、クロスステッチを掛け、端を袖付け時に縫い込む。

先部は巾4cmとし台衿付け根部から1.0cm下がった位置とする。周囲に6mmのステッチを掛ける。先部には釦止め用のねむり穴をあける。

(9) 肩縫

片倒しくるみ縫いとする。

(10) 脇縫

本縫し更にオーバーロックをかける（インターロックミシン可）

(11) 袖縫

袖の縫合せは本縫し、更にオーバーロックをかける（インターロックミシン可）

(12) 袖付縫

本縫し、更にオーバーロックをかける（インターロックミシン可）

(13) 袖口

1枚袖で袖口は2cm、3ツ折り始末とする。

(14) 片布

所定のものを上前胸ポケット裏面中央に縫付け、その下クロスラベルを縫付ける。

(15) サイズネーム

衿付中央の下縁にはさみ縫付ける。

(16) 階級章棚

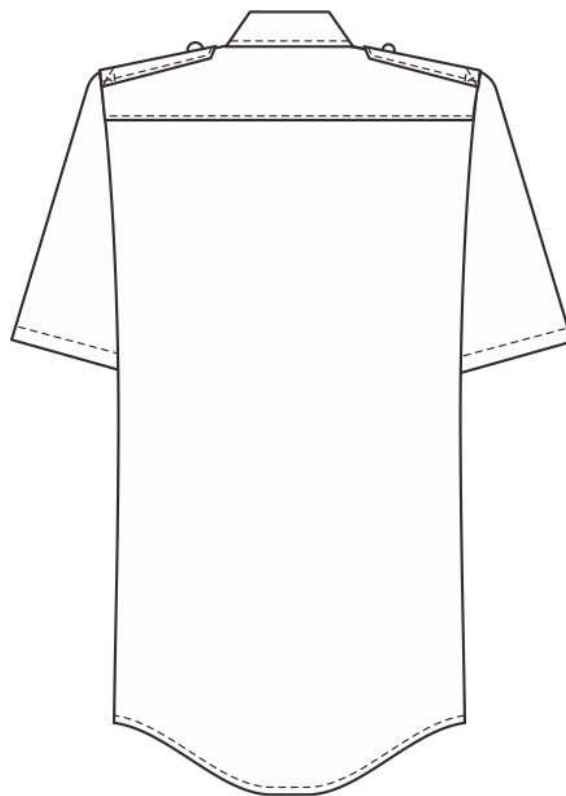
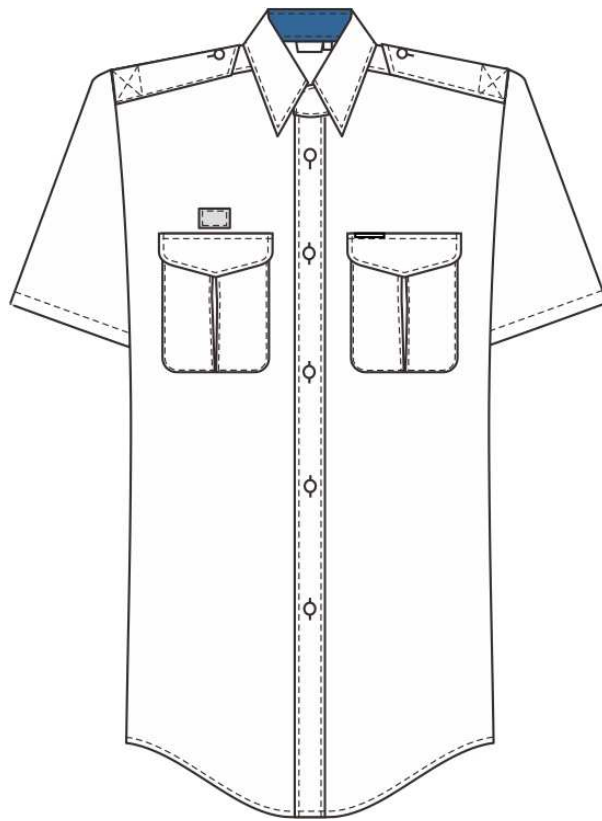
下前身頃雨ブタ付根中央上部に共生地にてループを縫付ける。

5 サイズ表

(単位：cm)

上衣	着丈	胸囲	肩巾	袖丈	ネック
5号	70	88	40	23	35
7号	70	92	41	23	35
9号	70	96	42	23	36
11号	70	100	43	24	37
13号	72	104	44	24	38
15号	74	108	45	25	39
17号	75	112	46	25	40
19号	76	116	47	25	42
21号	78	120	49	25	45
23号	78	125	51	26	47

絵図面



仕 様 書

消防吏員用夏服（下衣）

【エコ1302NB】

西はりま消防組合

1 型式

長ズボン、腰帯、天狗の鼻付き。両脇、尻左右ポケット各1個付き。

2 生地条件

項 目	生 地 規 格	
品 番	1 3 0 2	
色 相	淡紺	
混 用 率	毛 30%標準 再生ポリエステル 70%標準 (制電糸混紡)	
糸 番 手	2 / 6 0 × 1 6 7 d t e x	
組 織	平織り	
重 量	140 g / m ² 標準	
密度 (10cm 間)	(経) 264 本標準 (緯) 236 本標準	
寸法変化率	2%以下 (タテ、ヨコとも)	
染色堅牢度	耐光試験	4 級以上
	洗濯試験	4 級以上
	汗試験 (酸)	4 級以上
	(アルカリ)	4 級以上
摩擦試験 (乾)	4 級以上	
	(湿)	4 級以上
引 張 強 力	(経) 588N 以上 (緯) 490N 以上	
ピ リ ン グ	4 級以上	

3 縫製条件

(1) 針数

3 cm間で地縫いは11針以上、飾り12針以上、オーバーロック8針以上とする。

(2) 縫製糸

ポリエステル50番とする。

(3) 穴かがり

上衣はねむり穴、ズボンは鳩目穴とする。

(4) 釦付け

機械付け又は手付けとする。手付けは2本の糸を1個の穴に3～4回通し、根巻きは3回以上とする。

(5) 縫製

糸調子は上下糸とも、ツレ、タルミの無いようにし、返し針を完全にすること。

4 縫製条件

(1) 前身頃

- ア 外向き深さ約 2 cm のタックを左右にとる。
- イ 内股、脇、天狗縫い付け部、裾はオーバーロック掛けとする。

(2) 後身頃

- ア 腰ダーツを左右各 2 本とり片倒しとする。
- イ 内股、脇、尻はオーバーロック掛けとする。

(3) 前立・天狗

- ア 前立裏はオーバーロックを掛け帯付けより下にファスナーを縫い付け地縫い返しをし幅約 3.5cm の飾りステッチとする。
- イ 天狗裏は袋地スレーキを使い天狗表と地縫いし前身頃とファスナーを挟み縫いの端ミシン飾りとする。
- ウ ファスナー下部の止まりにかんぬき止めをする。
- エ 棒シックは天狗裏スレーキと連続で、かんぬき止まりより約 10cm 間、内側のみミシン掛けとする。
- オ 天狗上部に天狗の鼻を挟み縫いし、上部をかんぬき止めし、先端に鳩目穴かがりをする。

(4) 脇ポケット

- ア 口幅約 15cm の斜め切りポケットで接着芯を貼り袋地と縫い付ける。
- イ ポケット口中央で約 6 cm 幅の向当てオーバーロックを掛け袋地と縫い付ける。
- ウ 袋地底は地縫いをし、約 0.5cm 幅の飾りステッチをする。
- エ ポケット口上下をかんぬき止めする。
- オ 右ポケット内側に小物ポケット入れを付ける。

(5) 尻ポケット

- ア ポケット口幅約 13.5cm、深さ約 17cm を左右に付ける。
- イ ポケット口は芯入り片玉縁とする。
- ウ 左ポケットのみ鳩目穴をし釦を付ける。
- エ ポケット両端はかんぬき止めとする。
- オ ポケット口向当ては 4 cm 以上としオーバーロックを掛け袋地に縫い付ける。
- カ 袋地は左右を地縫いし、まわりを幅約 0.5cm の飾りステッチとする。
- キ 袋地上部は帯飾りステッチに掛るようにする。

(6) 帯付け

- ア 仕上がり幅 4 cm で 3.5 cm の接着芯を全面に接着する。
- イ 腰帯は尻あわせ部分で割り縫いとする。
- ウ ラッセル入りマーベルトを使い帯の下部の落としミシンでマーベルトを縫いつける。
- エ マーベルトの尻あわせは割り縫いとする。
- オ 左右の帯の先端に前かんを付ける。

(7) 脇、及び内股縫い

裁ち目はオーバーロック掛けし、1本針、一本糸使いの環ミシン掛け、割り縫いとする。

(8) 尻縫い

- ア 縫い代は上部で約 3 cm、下部で約 1 cm とする。
- イ 裁ち目はオーバーロック掛けし、2本針、2本糸使い環ミシン掛け、割り縫いとする。

(9) ベルト通し

- ア 幅約 1.5 cm、高さ約 6 cm (有効長さ約 5.5 cm) を後中央 2ヶ所、左右 3ヶ所の合計 8ヶ所付けとする。
- イ 上部は約 0.5 cm 下りてくるみ縫いをし、下部は折り曲げてステッチを掛ける。

(10) 裾

オーバーロックを掛け、股下 85 cm ハーフを標準とする。

(11) 片布サイズマーク及び品質クロス

右脇ポケット袋地に織りマークと共に縫い付ける。

5 サイズ表

【男性用】

単位：cm

ズボン		
サイズ	腰囲	股下
1号	72	85 ハーフ
2号	74	
3号	76	
4号	78	
5号	80	
6号	82	
7号	85	
8号	88	
9号	91	
10号	94	
11号	100	

【女性用】

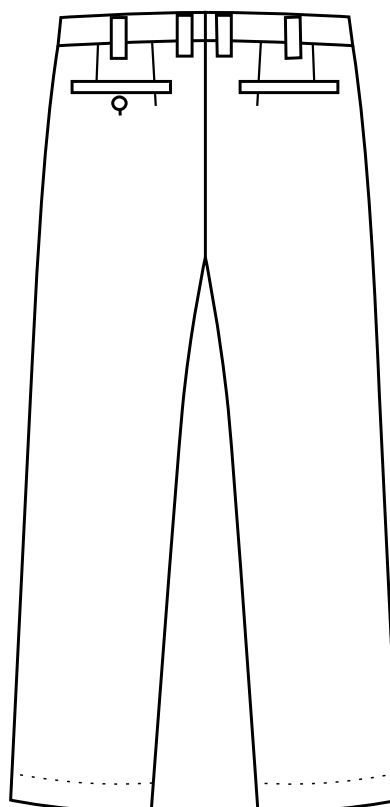
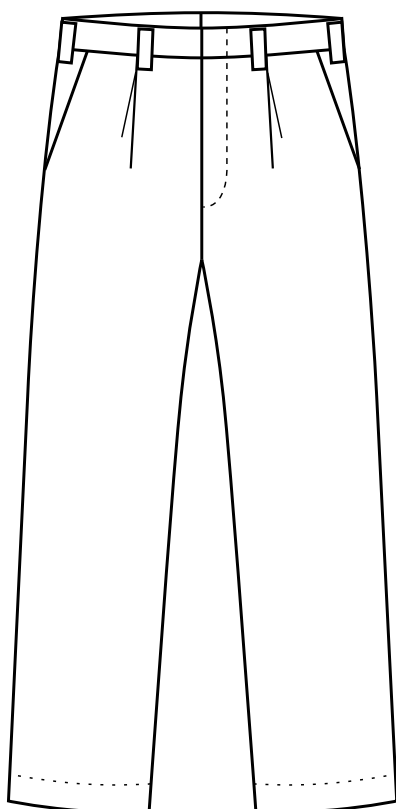
単位：cm

ズボン		
サイズ	腰囲	股下
S	56~62	85 ハーフ
M	62~68	
L	68~76	
LL	76~84	
3L	84~92	

6 附則

使用する表生地に関しては、入札又は見積もり合わせ時に紡績メーカーの品質証明書並びに出荷証明書を提出すること。

【概要図】



仕 様 書

活動服（冬用）

西はりま消防組合

1 総則

この仕様書は、西はりま消防組合消防本部（以下「当本部」という。）における冬活動服（上衣・下衣）について定める。

2 型式

(1) 上衣

前立てファスナー（衿先ジップアップ）肩章付、脇下ベンチレーション、左右胸両玉縁ファスナー付きポケット、右胸階級台マジック付き、肘当て付き、袖口ファスナー水かき付き、無線機ホルダーフック付・前後身頃切り替え部、裾シャツ式

(2)ズボン

前立てファスナー、ベルトループ5本付き、両サイドファスナー付アウトポケット

3 表生地

(1) 種類

東レ S2412TS (NTB)
難燃ストレッチツイル

(2) 混紡率

メタ系アラミド繊維（ノーメックス）	73%
パラ系アラミド繊維（ケブラー）	5%
難燃ポリエステル	20%
ポリウレタン	2%
導電性繊維混入	

4 条件

- (1) 針数は 30mm 間に飾り・刺し共に 10 針以上とすること。
- (2) 縫製糸はノーメックス#24/3 を使用し生地と同系色とすること。
- (3) 縫製の糸調子は上下共ツレ・タルミのないようにし、返し針を完全にすること。
- (4) 製品の納入に際しては、1 着ごとにプレスした後ビニール袋に包装すること。
- (5) 指定入札者は入札書提出時に、紡績メーカーが発行した品質証明書並びに出荷引受証明書(東レ #2412TS 難燃ストレッチツイル)を提出することとする。
- (6) その他不明な点については、当本部と協議すること。

5 縫製要領

(1) 上衣

ア 衿

裏衿腰部分にステッチを7本かけ、衿腰より衿端にはジグザグステッチをかける。
表衿と縫い合わせ、周囲にダブルステッチをかける。

衿・前端にファスナーを前身頃から続けて付ける。

衿トリミングは 12 mmの配色。

裏衿側は突合せとし、ファスナーのムシを見せないように付け、表衿側も顎部保護の為、ムシを見せないようにして付ける。

イ 前身頃

切り替え部分に表地を 2 枚重ねする。

前立ては見返しと縫い合わせる時、ファスナーを付ける。

表面は突合わせとしファスナーのムシを見せないように付け、見返し側も同様とする。

ファスナー端の見返し側よりダブルステッチを裾までかけ、下ファスナー止まり位置に門止めをする。

袖ぐり、脇切り替え部分にはダブルステッチをかける。

ウ 胸ポケット

左右の胸に口の長さ約 140mm の両玉縁ファスナー付の切りポケットを付ける。

口の周囲にステッチをかけ、口の両端は返し縫いをする。

胸ポケットファスナーは閉じて脇側とする。

表地を袋布とし、身頃の裏側に当て、周囲は二つ折りし、ダブルステッチを表面まで出るように縫い止める。

左胸ポケット内の脇側に 4 cm× 5 cm のペン差し用ループ(2 本用)を付けること。

エ 右胸台座・左胸ネーム

右胸ポケット位置より約 10mm 上部に 25mm 幅×長さ 40mm の階級章マジック台を取り付ける。

活動衣と同生地にて(紺色)左胸ポケット位置上部の上段に消防名、下段に個人名を指定の字体・色にて刺繍を施した名札を取り付ける。(取り外しが出来るように名札側・服側にマジックを縫い付ける。)

オ 後身頃

後身頃は肩ヨークと縫い合わせ、脇側は脇身頃と縫い合わせダブルステッチを後身頃側にかける。背ヨーク(Vヨーク)幅は 27cm とする。(サイズにより変動する)

後ろ身頃の配色はオレンジとする。

後身頃上部中央に指定色にてプリントを施す。(消防本部指定字体)

カ 脇身頃

脇身頃下側布と袖下続きの上側布を袖下で重ね、上下を離し前後脇線で縫い合わせ、ベンチレーションホール(通気口)を設ける。

脇下側布の上端先はオーバーロックの二つ折り始末しダブルステッチをかけ、上側布の下端先は三つ折り始末しダブルステッチをかける。

前身頃と前袖を縫い合わせ、脇身頃側にダブルステッチをかける。

後身頃と後袖を縫い合わせ、後身頃・袖側にダブルステッチをかける。

キ 袖

肩ヨークの続き袖は、肩の部分に表地2枚重ねし、肩先端はダブルステッチで袖に縫い止める。

ヨーク前側は、前身頃・前袖と縫い合わせる時、ヨーク側にダブルステッチをかける。

後袖は肘上部辺りで切り替え2枚ハギとし、ダブルステッチをかける。

ヨーク後側は、後身頃・後袖と縫い合わせる時、ヨーク側にダブルステッチをかける。

腕の長さにより肘の位置が変わるため、それに合わせるため標準サイズ、±3cmの3種類を設けること。

ク 肘当て

左右の肘にダーツを取った当て布をダブルステッチで縫い止める。

ケ 袖口

後袖の袖口に両玉縁でファスナー長さ約170mmを付ける。

カフス先までファスナーを付け、周囲はコバステッチで押さえる。

ファスナー開き部分の内側(ファスナー下)に表地で水カキを付ける。

水カキはカフス先端から開き止まりまでとし、水カキの口は三つ折り始末しステッチで押さえる。

シングルカフス付け内側始末は、折り曲げカフス付け側と袖口側にダブルステッチをかける。

ファスナーはロックタイプとする。

コ 裾

シャツ型とし、三つ折り始末しステッチで押さえる。

サ 片布・サイズ表示・品質表示

片布は左胸ポケット位置の身頃裏面に付け、下にサイズ表示・品質表示を挟む。

シ 衿吊り

後中心衿ぐりに挟む。

ス 警告表示

右胸ポケット位置の身頃裏側に付ける。

セ 肩章

巾は約45mmとし長さ約145mm襟ぐり側は台形とする。端を袖付けの縫目に縫込み、クロスステッチは入れないこと。

色はオレンジ色とし肩章の先は衿付根部としボタンで止める。

(2) ズボン

ア 前

ウエスト続きの身頃とし、ウエストから膝上までと膝下で2ヶ所切り替え、表地2枚を重ねする。

ファスナー下から裾まで切り替え、前身頃側にダブルステッチをかける。

イ 前立て

左上前立てに芯を貼り、約 40mm 幅と 6 mm 幅の飾りステッチで押さえ左上前ファスナー開き止まり位置は小丸にし、ミシン閉止めをする。

見返し奥の裁ち目は芯と共にオーバーロック始末をする。

右前ファスナー下に持ち出し布を付け、身頃と持ち出し布のはぎ目にファスナーを挟みコバステッチをかける。

持ち出し布は表裏共に表地とし、見返し側の奥端はオーバーロック始末をする。

ウ 後

後身はウエストより裾まで切り替え、ダブルステッチで押さえる。

後中心ベルトループ下から後身切り替え線までカーブで切り替え、ダブルステッチで押さえる。

後尻部分の切り替えに部分は、ダブルステッチで押さえる。後ピス右のみ両玉縁にてファスナー付き持ち手を閉じて脇側とする。

エ ウエスト

ウエスト内側はマーベルト仕様とし、上端にステッチをかけ、更に下へ約 35mm 幅のステッチをウエスト一周にかける。

オ ベルトループ(4本付)

ベルトループ幅約 90mm、通し幅約 60mm、ループの両端にコバステッチをかける。

左右の前切り替え位置・後切り替え位置に 4 本付け、上端は約 1.0cm 下げて縫い、下側はダブルステッチで身頃に縫い止める。

後中心のループ幅約 100mm、通し幅中心で約 60mm、両端にコバステッチをかけ下端は剣先型とする。

上端は約 1.0cm 下げて縫い、下側は剣先に合わせて三角形にコバステッチで縫い止める。

カ アウトポケット

左右脇アウトポケットの幅 190mm、長さ 250mm、左右にマチ布を付ける。

ポケット口はファスナー開き 170mm の突合せとし、玉縁の上下端はコバステッチをかける。ファスナーは閉じて尻側とする。

ポケット付け位置も上記を考慮しポケット底部を膝横のハギに合わせる。

キ 脇

前後身頃の切り替え部分、膝上あたり部分をダブルステッチする。

ク 尻縫い

左後身側へ片倒しをし、ダブルステッチをかける。

ケ 裾

裾は指定サイズのタブを共生地で取付け、マジック仕様とする。

コ 片布

片布は左脇アウトポケット位置の裏側に付け、下にサイズ表示・品質表示を挟む。

サ 警告表示

右脇アウトポケット位置の裏側に付ける。

6 寸法表

新型立体活動服 上衣サイズ表

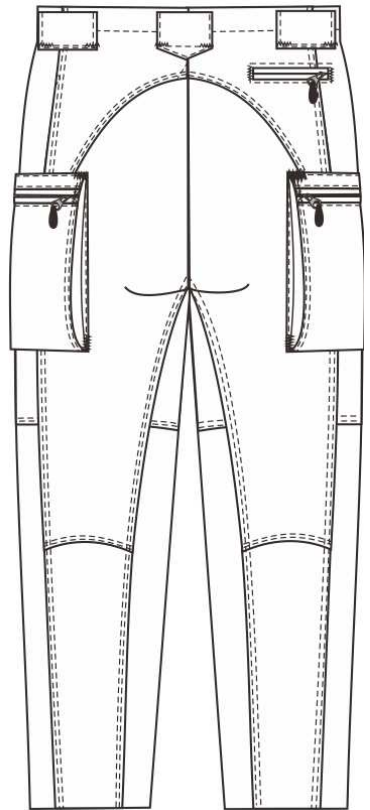
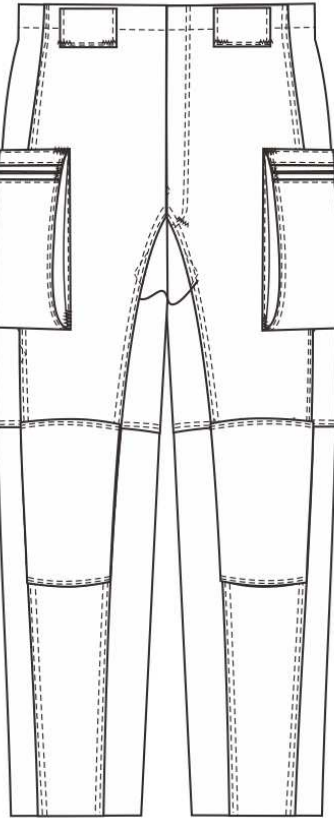
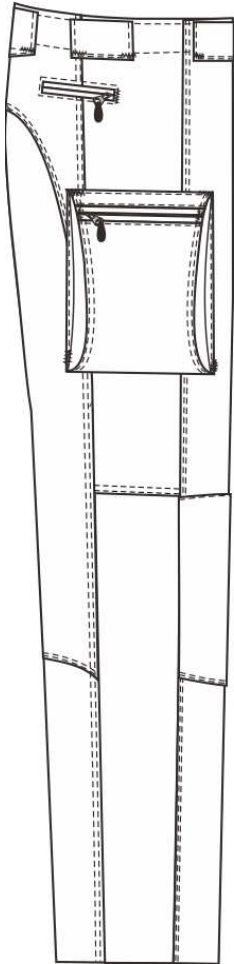
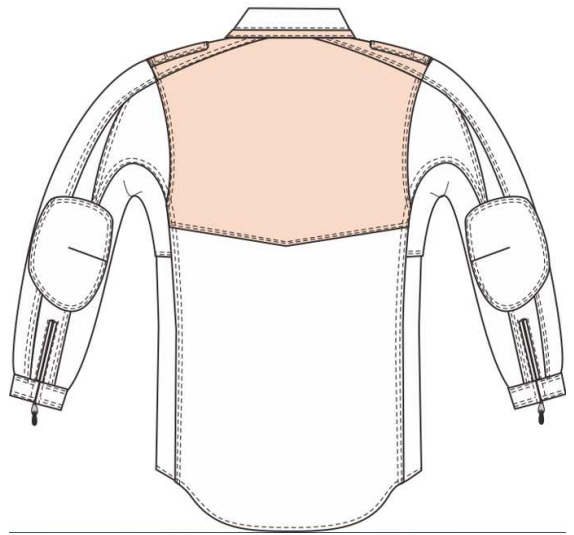
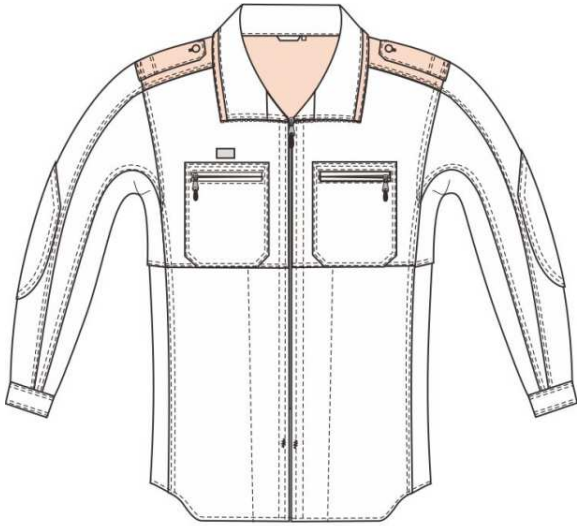
(出来上がり寸法 単位：cm)

部位 サイズ	着 丈	胸 囲	胴 囲	衿 丈	ネック回り
SS	73	97	95	77	45
S	73	101	99	79	46
M	75	105	103	81	47
L	77	111	109	84	48
LL	80	117	115	86	50
3L	81	123	121	89	51
4L	84	129	127	91	53
5L	86	135	133	94	54

新型立体活動服 下衣(ズボン)サイズ表

(出来上がり寸法 単位：cm)

部 位 サイズ	ウエスト	ヒ ッ プ	わたり幅	股 下
SS	71	96	32	79
S	75	100	33	79
M	79	104	34	79
L	83	108	36	79
LL	87	112	37	79
3L	91	116	38	79
4L	95	120	40	79
5L	99	124	41	79



仕 様 書

活動服（夏用）

西はりま消防組合

1 総則

この仕様書は、西はりま消防組合消防本部（以下「当本部」という。）における夏活動服(上衣・下衣)について定める。

2 型式

(1) 上衣

前立てファスナー（衿先ジップアップ）肩章付、脇下ベンチレーション、左右胸両玉縁ファスナー付きポケット、右胸階級台マジック付き、肘当て付き、袖口ファスナー水かき付き、無線機ホルダーフック付・前後身頃切り替え部、裾シャツ式

(2)ズボン

前立てファスナー、ベルトループ5本付き、両サイドファスナー付アウトポケット

3 表生地

(1) 種類

東レ S2418TS (NTB)
難燃ストレッチトロピカル

(2) 混紡率

メタ系アラミド繊維（ノーメックス）	73%
パラ系アラミド繊維（ケブラー）	5%
難燃ポリエステル	20%
ポリウレタン	2%
導電性繊維混入	

4 条件

- (1) 針数は30mm間に飾り・刺し共に10針以上とすること。
- (2) 縫製糸はノーメックス#24/3を使用し生地と同系色とすること。
- (3) 縫製の糸調子は上下共ツレ・タルミのないようにし、返し針を完全にすること。
- (4) 製品の納入に際しては、1着ごとにプレスした後ビニール袋に包装すること。
- (5) 指定入札者は入札書提出時に、紡績メーカーが発行した品質証明書並びに出荷引受証明書(東レ #2412TS 難燃ストレッチトロピカル)を提出することとする。
- (6) その他不明な点については、当本部と協議すること。

5 縫製要領

(1) 上衣

ア 衿

裏衿腰部分にステッチを7本かけ、衿腰より衿端にはジグザグステッチをかける。
表衿と縫い合わせ、周囲にダブルステッチをかける。

衿・前端にファスナーを前身頃から続けて付ける。

衿トリミングは 12 mmの配色。

裏衿側は突合せとし、ファスナーのムシを見せないように付け、表衿側も顎部保護の為、ムシを見せないようにして付ける。

イ 前身頃

切り替え部分に表地を 2 枚重ねする。

前立ては見返しと縫い合わせる時、ファスナーを付ける。

表面は突合わせとしファスナーのムシを見せないように付け、見返し側も同様とする。

ファスナー端の見返し側よりダブルステッチを裾までかけ、下ファスナー止まり位置に閉止めをする。

袖ぐり、脇切り替え部分にはダブルステッチをかける。

ウ 胸ポケット

左右の胸に口の長さ約 140mm の両玉縁ファスナー付の切りポケットを付ける。

口の周囲にステッチをかけ、口の両端は返し縫いをする。

胸ポケットファスナーは閉じて脇側とする。

表地を袋布とし、身頃の裏側に当て、周囲は二つ折りし、ダブルステッチを表面まで出るように縫い止める。

左胸ポケット内の脇側に 4 cm× 5 cm のペン差し用ループ(2 本用)を付けること。

エ 右胸台座・左胸ネーム

右胸ポケット位置より約 10mm 上部に 25mm 幅×長さ 40mm の階級章マジック台を取り付ける。

活動衣と同生地にて(紺色)左胸ポケット位置上部の上段に消防名、下段に個人名を指定の字体・色にて刺繍を施した名札を取り付ける。(取り外しが出来るように名札側・服側にマジックを縫い付ける。)

オ 後身頃

後身頃は肩ヨークと縫い合わせ、脇側は脇身頃と縫い合わせダブルステッチを後身頃側にかける。背ヨーク(Vヨーク)幅は 27cm とする。(サイズにより変動する)

後ろ身頃の配色はオレンジとする。

後身頃上部中央に指定色にてプリントを施す。(当本部指定字体)

カ 脇身頃

脇身頃下側布と袖下続きの上側布を袖下で重ね、上下を離し前後脇線で縫い合わせ、ベンチレーションホール(通気口)を設ける。

脇下側布の上端先はオーバーロックの二つ折り始末しダブルステッチをかけ、上側布の下端先は三つ折り始末しダブルステッチをかける。

前身頃と前袖を縫い合わせ、脇身頃側にダブルステッチをかける。

後身頃と後袖を縫い合わせ、後身頃・袖側にダブルステッチをかける。

キ 袖

肩ヨークの続き袖は、肩の部分に表地 2 枚重ねし、肩先端はダブルステッチで袖に縫い止める。

ヨーク前側は、前身頃・前袖と縫い合わせる時、ヨーク側にダブルステッチをかける。

後袖は肘上部辺りで切り替え 2 枚ハギとし、ダブルステッチをかける。

ヨーク後側は、後身頃・後袖と縫い合わせる時、ヨーク側にダブルステッチをかける。

腕の長さにより肘の位置が変わるため、それに合わせるため標準サイズ、± 3 cm の 3 種類を設けること。

ク 肘当て

左右の肘にダーツを取った当て布をダブルステッチで縫い止める。

ケ 袖口

後袖の袖口に両玉縁でファスナー長さ約 170mm を付ける。

カフス先までファスナーを付け、周囲はコバステッチで押さえる。

ファスナー開き部分の内側(ファスナー下)に表地で水カキを付ける。

水カキはカフス先端から開き止まりまでとし、水カキの口は三つ折り始末しステッチで押さえる。

シングルカフス付け内側始末は、折り曲げカフス付け側と袖口側にダブルステッチをかける。

ファスナーはロックタイプとする。

コ 裾

シャツ型とし、三つ折り始末しステッチで押さえる。

サ 片布・サイズ表示・品質表示

片布は左胸ポケット位置の身頃裏面に付け、下にサイズ表示・品質表示を挟む。

シ 衿吊り

後中心衿ぐりに挟む。

ス 警告表示

右胸ポケット位置の身頃裏側に付ける。

セ 肩章

巾は約 45 mm とし長さ約 145 mm 襟ぐり側は台形とする。端を袖付けの縫目に縫込み、クロスステッチは入れない事。

色はオレンジ色とし肩章の先は衿付根部としボタンで止める。

(2) ズボン

ア 前

ウエスト続きの身頃とし、ウエストから膝上までと膝下で 2 ヶ所切り替え、表地 2 枚を重ねる。

ファスナー下から裾まで切り替え、前身頃側にダブルステッチをかける。

イ 前立て

左上前立てに芯を貼り、約 40mm 幅と 6mm 幅の飾りステッチで押さえ、左上前ファスナー開き止まり位置は小丸にし、ミシン閉止めをする。

見返し奥の裁ち目は芯と共にオーバーロック始末をする。

右前ファスナー下に持ち出し布を付け、身頃と持ち出し布のはぎ目にファスナーを挟みコバステッチをかける。

持ち出し布は表裏共に表地とし、見返し側の奥端はオーバーロック始末をする。

ウ 後

後身はウエストより裾まで切り替え、ダブルステッチで押さえる。

後中心ベルトループ下から後身切り替え線までカーブで切り替え、ダブルステッチで押さえる。

後尻部分の切り替えに部分は、ダブルステッチで押さえる。後ピス右のみ両玉縁にてファスナー付き持ち手を閉じて脇側とする。

エ ウエスト

ウエスト内側はマーベルト仕様とし、上端にステッチをかけ、更に下へ約 35mm 幅のステッチをウエスト一周にかける。

オ ベルトループ(4本付)

ベルトループ幅約 90mm、通し幅約 60mm、ループの両端にコバステッチをかける。

左右の前切り替え位置・後切り替え位置に 4 本付け、上端は約 1.0cm 下げて縫い、下側はダブルステッチで身頃に縫い止める。

後中心のループ幅約 100mm、通し幅中心で約 60mm、両端にコバステッチをかけ下端は剣先型とする。

上端は約 1.0cm 下げて縫い、下側は剣先に合わせて三角形にコバステッチで縫い止める。

カ アウトポケット

左右脇アウトポケットの幅 190mm、長さ 250mm、左右にマチ布を付ける。

ポケット口はファスナー開き 170mm の突合せとし、玉縁の上下端はコバステッチをかける。ファスナーは閉じて尻側とする。

ポケット付け位置も上記を考慮しポケット底部を膝横のハギに合わせる。

キ 脇

前後身頃の切り替え部分、膝上あたり部分をダブルステッチする。

ク 尻縫い

左後身側へ片倒しをし、ダブルステッチをかける。

ケ 裾

裾は指定サイズのタブを共生地で取付け、マジック仕様とする。

コ 片布

片布は左脇アウトポケット位置の裏側に付け、下にサイズ表示・品質表示を挟む。

サ 警告表示

右脇アウトポケット位置の裏側に付ける。

6 寸法表

新型立体活動服 上衣サイズ表

(出来上がり寸法 単位：cm)

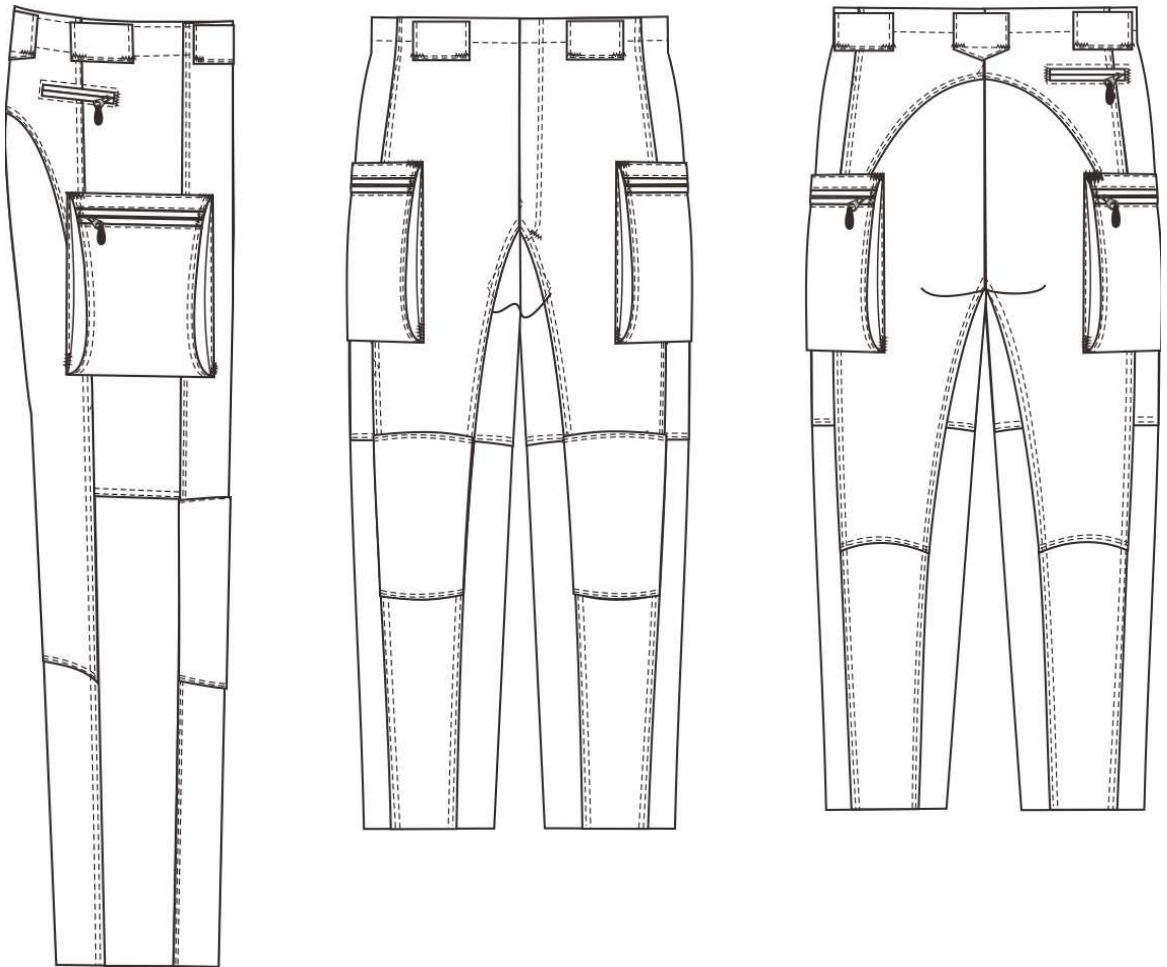
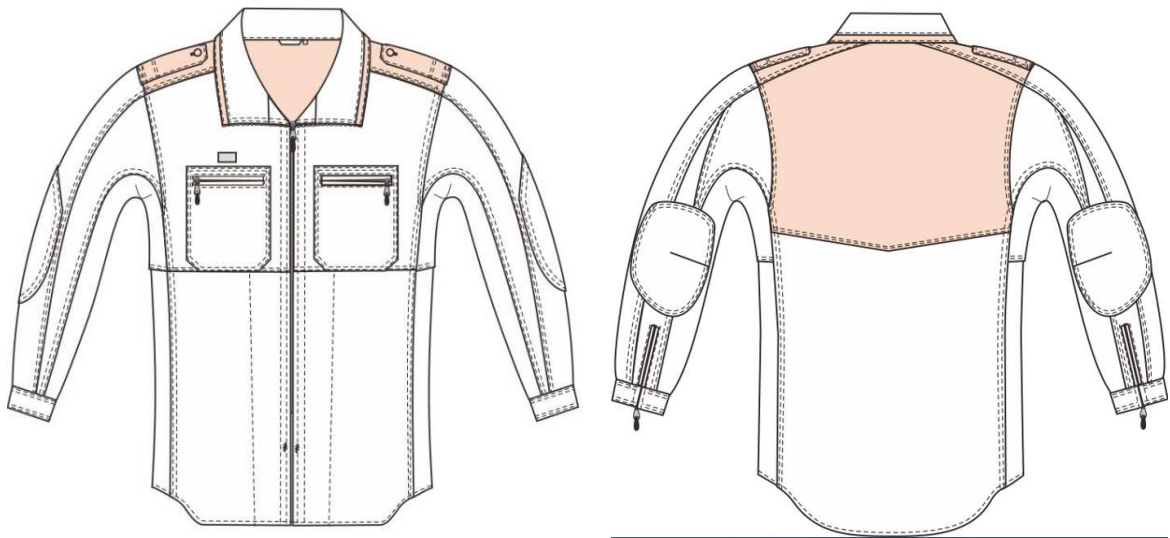
部位 サイズ	着 丈	胸 囲	胴 囲	衿 丈	ネック回り
SS	73	97	95	77	45
S	73	101	99	79	46
M	75	105	103	81	47
L	77	111	109	84	48
LL	80	117	115	86	50
3L	81	123	121	89	51
4L	84	129	127	91	53
5L	86	135	133	94	54

新型立体活動服 下衣(ズボン)サイズ表

(出来上がり寸法 単位：cm)

部 位 サイズ	ウエスト	ヒ ッ プ	わたり幅	股 下
SS	71	96	32	79
S	75	100	33	79
M	79	104	34	79
L	83	108	36	79
LL	87	112	37	79
3L	91	116	38	79
4L	95	120	40	79
5L	99	124	41	79

繪 圖



仕 様 書

救急服（冬用）

西はりま消防組合

1 総則

この仕様書は、西はりま消防本部における冬救急服（上衣・下衣）について定める。

2 型式

(1) 上衣

立体縫製及び立体裁断、カッター衿型肩章付き、前立ファスナー式、袖口ファスナー式、長袖、左右胸ポケット雨蓋付き、前ヒヨク・紺色配色衿、左袖ペンライト入れ付き

(2) 下衣

立体縫製及び立体裁断、ワンタッチ、両脇ポケット、後ダーツ、左上前ファスナー開き前カン止め、後身切り替え、ベルトループ8本付き、左右後片玉縁ポケット（左釦止め）、裾ルイス仕上げ

3 生地

(1) 上衣

ア 素材

日本毛織 NN503 難燃ピッケ（C／＃グレー）

制菌加工（SEK認証赤ラベル）

イ 混紡率

メタ系アラミド 50%

パラ系アラミド 2%

難燃レーヨン 24%

ポリエステル 24%

制電性繊維

(2) 上衣配色生地

ア 素材

日本毛織 FX130 難燃サージ（C／＃ネイビー）

制電性繊維

イ 混紡率

メタ系アラミド 55%

難燃レーヨン 45%

制電性繊維

(3) 下衣

ア 素材

日本毛織 NN501 難燃サキソニー（C／＃グレー）

制菌加工（SEK認証赤ラベル）

イ	混紡率	
	メタ系アラミド	50%
	パラ系アラミド	2%
	難燃レーヨン	24%
	ポリエステル	24%
	制電性繊維	

4 縫製要領

(1) 上衣

ア 衿

テトロン芯を入れ、衿幅は中央で 45 mm（衿合幅 35 mm）衿先幅 70 mm とする。台衿裏に配色を施す。

イ 前立て

左上前見返しと身頃見返し端にファスナーを合わせ、左上前角より 6 mm 幅ステッチを掛け、更にファスナー付きのダブルステッチを下まで掛ける。下前角は見返しとの間にファスナーを挟み前角にコバステッチを下まで掛ける。ファスナーはムシ見せとする。前立てのファスナー横に両面式の面ファスナーを 3 箇所取付ける。左上前見返し側に面ファスナー（両面式）、右下前にマジックテープ（両面式）を付ける。（但し女性用は打合せ逆とする）

ウ 胸アウトポケット

胸ポケットは、左右 2 個で雨蓋付きとする。雨蓋には、所定のテトロン芯を入れる。雨蓋は幅中央で高さ 60 mm（端部で高さ 45 mm）横 140 mm、胸ポケットは、横幅 135 mm、深さ 145 mm、インダーツとする。雨蓋はマジック止め（両面式）とする。

エ 肩章

幅 45 mm とし、端を袖付けの縫目に縫込み、肩章の先は、衿付根部より 20 mm 下がった位置とする。

オ 裾

裾は、三巻縫いとする。

カ 片布・品質表示・制菌認証マーク・警告表示

片布を上前胸ポケット裏中央に縫付け、その下に品質表示・制菌認証マークを縫付ける。警告表示を下前胸ポケット裏面中央に縫付ける。

キ 衿吊り・サイズ表示

衿吊りは衿ぐり後中心に挟み付け、サイズ表示は衿吊り横に挟み付ける。

ク 階級章台受け

下前身頃雨蓋付根、中央上部 15 mm 上に縦 25 mm 横 40 mm のマジックテープを縫付ける。

ケ ペンライト入れ

左袖にペンライト入れを縫付ける。

コ 脇

脇身頃は裾から脇下まで、脇下から袖口までを続きとし、脇下に重ね布式ベンチレーションホールを設ける。ベンチレーションホールの上端は三折り始末をし、コバステッチと6mm幅のダブルステッチを掛ける。ベンチレーションホールの下端は二折りオーバーロック始末し、6mm幅ステッチを掛ける。ベンチレーションホールは袖下布の上に脇下身頃と重ね、上下を離し脇線のみで縫い合わせる。前後身頃に6mm幅のステッチを掛ける。

サ 袖

2枚袖のカフス幅60mm付きとする。袖口に2本のタックを取り、長さ160mmのファスナーを設ける。袖下縫いは、脇線から続けてインターロック始末、又は地縫いとオーバーロック始末とする。カフス付け内側始末は、折曲げ、カフス付け側にコバステッチと6mm幅のダブルステッチを掛ける。袖開きは、ファスナー仕様とし、袖口カフス手前まで水かきを付ける。立体を持たせる為に、袖付根後武にダーツを取ることにする。また、カフス裏には配色生地を使用すること。

シ 背ヨーク

1枚仕立てストレートヨークとし、後部背切替え、前肩は肩章付け辺りの位置で切替える。切替え線のヨーク側に6mm幅のステッチを掛ける。袖側にも6mm幅のステッチを掛ける。大きさは、中心で約180mm（サイズにより変動）とする。

ス ネーム等プリント・刺繍・台座

詳細は、別途担当者と協議すること。

セ デザイン

人間工学に基づく立体構造とする。

(2) 下衣

ア 前タック

左右前ファスナー開き、左右のウエストにワンタックを取り、脇側（外向き）に片倒しをする。

イ 前立て

左上前立てに芯を貼り、約35mm幅の飾りステッチで押さえ、ファスナー開き止まり位置は小丸にし、閉止めをする。見返し奥の裁ち目は、芯と共にオーバーロック始末をする。右下前ファスナー下に持ち出し布を付け、身頃にファスナーを挟みコバステッチを掛ける。（但し女性用は打合せ逆とする）

ウ 脇ポケット

左右の両脇に斜め切替えポケットを各1個付ける。ポケット口の長さ160mmとし、口の上下端に閉止めをする。口には6mm幅のコバステッチを掛ける。向こう布の表

地端は、袋布に縫合わせる。袋の周囲は、袋縫いをする。右ポケットの袋布に小袋を縫付ける。

エ 後

左右のウエストに各1本のダーツを取り、外側に片倒しをする。後中心の尻縫いは割縫い、裁ち目はオーバーロック始末をする。脇線と後中心の間（中心寄り）にベルト付け下より裾まで切替え、脇側へ6mm幅ステッチを掛ける。後身を切替えた中心側身頃の太腿辺りを斜めに切替え下裾側へ6mm幅ステッチを掛ける。ダーツ、後身・内腿切替え部は臀部の突張り感を軽減させるため必要とする。

オ 後ポケット

左右後ろに口幅10mm、口の長さ145mmの片玉縁ポケットを各1個つける（玉縁作りミシン可）。ポケット周囲は、コバステッチを掛け、口の両端は閉止めをする。ポケットのみ穴かがり釦止めとする。

カ 腰帯

マーベル付きとする。前両端は内側に折曲げステッチで押さえる。ファスナー上の前中心に前カンを付ける。

キ ベルトループ

ベルト通し幅56mm、幅20mmのものを前タック位置、脇、後ダーツ位置、後2箇所、合計8箇所付ける。ループ幅の下端はステッチを掛ける。

ク シック

下前の持出し布下へ棒シック布を縫い代端に縫い止める。股破れのないよう特別な処置を施すこと。

ケ 裾

裾は、シングル。オーバーロックのハーフ始末とする。

コ 脇縫い

後ろへ片倒しとし、6mm幅ステッチをかけ、裁ち目はオーバーロック始末とする。

サ 内股縫い

縫い割し、裁ち目はオーバーロック始末とする。

シ 片布・品質表示・制菌認証マーク・警告表示

片布を左脇ポケット裏面中央に縫付け、その下に品質表示・制菌認証マークを縫付ける。警告表示を右脇ポケット裏面中央に縫付ける。

ス デザイン

人間工学に基づく立体構造とする。

救急服男性上衣サイズ表

(単位：c m)

部位 サイズ	着丈	胸囲	胴囲	肩幅	袖丈	ネック
00号	73	100	92	44	75	39
0号	75	105	97	46	78	39
1号	77	110	102	48	81	40
2号	79	115	107	50	84	41
3号	81	120	112	52	87	42
4号	75	115	112	50	78	43
5号	77	120	117	52	81	45
6号	79	125	122	54	84	46
7号	81	130	127	56	87	48

救急服男性下衣サイズ表

(単位：c m)

部位 サイズ	ウエスト	ヒップ	渡り幅	裾幅
A1	70	98	33.5	20.5
A2	73	100	33.5	20.5
A3	76	103	34.5	21
A4	79	106	34.5	21
A5	82	108	35	21.5
A6	85	111	35.5	21.5
A7	88	114	36.5	22
B00	82	110	36.5	23
B0	85	113	37	23
B1	88	116	38	23.5
B2	91	119	38	24
B3	95	122	38.5	24
B4	100	125	39	24
B5	105	128	40	25
B6	110	132	41	25

救急服女性上衣サイズ表

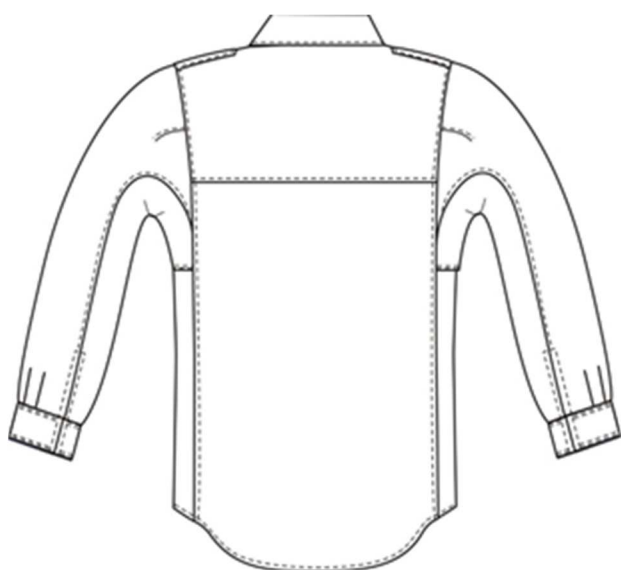
(単位：c m)

部位 サイズ	着丈	胸囲	肩幅	衿丈	ネック
5号	72	92	41	73.5	39
7号	72	96	42	75	39
9号	72	100	43	76.5	39
11号	74	104	44	78	39
13号	76	108	45	79.5	39
15号	77	112	46	80	39
17号	78	116	47	81.5	40
19号	78	120	49	82.5	41
21号	78	125	51	83.5	42
23号	78	130	53	85.5	43
25号	78	140	55	86.5	45

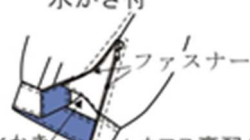
救急服女性下衣サイズ表

(単位：c m)

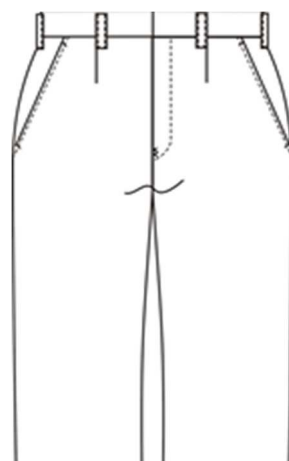
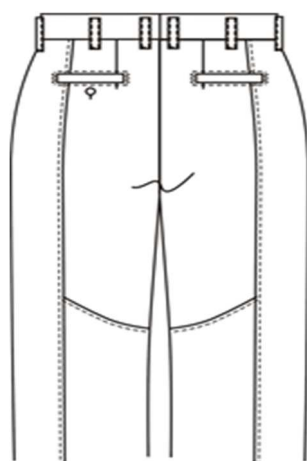
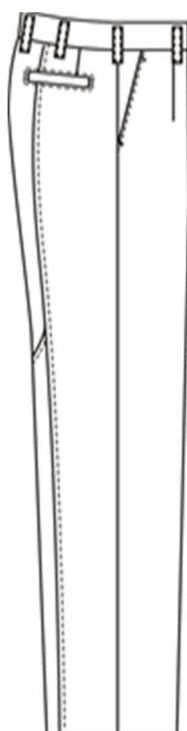
部位 サイズ	ウエスト	ヒップ	股上	裾幅
5号	61	94	24.5	21
7号	64	97	25	21
9号	67	100	26	21.5
11号	70	103	26	22
13号	73	106	27	22.5
15号	76	109	27	23
17号	79	112	28	23.5
19号	84	117	28	24
21号	89	122	29	25
23号	94	127	29	25
25号	99	132	29	25.5
27号	104	137	29	26
29号	109	142	29	26



袖口ファスナー
水かき付



水かき
カフス付け
1cm入った所に付ける。
*カフス裏配色



仕 様 書

救急服（夏用）

西はりま消防組合

1 総則

この仕様書は、西はりま消防本部における夏救急服（上衣・下衣）について定める。

2 型式

(1) 上衣

台衿シャツカラー、前立オープンファスナー・面ファスナー止め、肩章付き、左ペンライト入れ付き

(2) 下衣

立体縫製及び立体裁断、ワンタッチ、両脇ポケット、後ダーツ、左上前ファスナー開き前カン止め、後身切り替え、ベルトループ8本付き、左右後片玉縁ポケット（左釦止め）、裾ルイス仕上げ

3 生地

(1) 上衣

ア 素材

東レ トリコット 21593M (C/＃グレー)

制菌加工 (SEK認証赤ラベル)・吸汗速乾・透け防止・接触冷感

イ 混紡率

ポリエステル 95%

キュプラ 5%

導電性繊維使用

(2) 下衣

ア 素材

日本毛織 NN502 難燃トロピカル (C/＃グレー)

制菌加工 (SEK認証赤ラベル)

イ 混紡率

メタ系アラミド 50%

パラ系アラミド 2%

難燃レーヨン 24%

ポリエステル 24%

制電性繊維

4 縫製要領

(1) 上衣

ア 衿

テロン芯を入れ、衿幅は中央で45mm（衿合幅35mm）衿先幅67mmとする。

イ 前立て

前立てはヒヨク式ファスナーとし、マジックを3箇所取付ける。(但し女性用は打合せ逆とする)

ウ 胸アウトポケット

胸ポケットは、左右2個で雨蓋付きとする。雨蓋には、所定のテトロン芯を入れる。雨蓋は幅中央で高さ60mm(端部で高さ45mm)横140mm、胸ポケットは、横幅135mm、深さ145mm、インダーツとする。雨蓋はマジック止めとする。(ループは不可)

エ 後身頃

通気性を良くするため表地同系色で指定のメッシュを背ヨーク下より約370mm下まで取付ける。袖付けより背中心へ75mm入った位置に深さ30mmのタックを左右各1箇所取る。背ヨークから170mm下までは縫わないこと。更にその位置から裾までを3mmの飾りステッチで完全に止めること。

オ 袖口

半袖とし、袖口の折返しは幅40mmとしステッチミシンを掛ける。

カ 肩章

幅50mmとし、端を袖付けの縫目に縫込み、クロスステッチはしないこと。肩章の先は、衿付き根部より20mm下がった位置とする。

キ 裾

裾は、三巻縫いとする。

ク 片布

左胸ポケット位置の身頃裏面につける。

ケ 品質表示

片布下端に挟付ける。

コ サイズ表示

衿の後ろ中心に挟付ける。

サ 階級章台受け

下前身頃雨蓋付根、中央上部15mm上に縦25mm横40mmのマジックテープを縫付ける。

シ ペンライト入れ

左袖にペンライト入れを縫付ける。

ス ネーム等プリント・刺繍・台座

詳細は、別途担当者との協議すること。

セ デザイン

人間工学に基づく立体構造とする。

(2) 下衣

ア 前タック

左右前ファスナー開き、左右のウエストにワンタックを取り、脇側（外向き）に片倒しをする。

イ 前立て

左上前立てに芯を貼り、約 35 mm幅の飾りステッチで押さえ、ファスナー開き止まり位置は小丸にし、閉止めをする。見返し奥の裁ち目は、芯と共にオーバーロック始末をする。右下前ファスナー下に持ち出し布を付け、身頃にファスナーを挟みコバステッチを掛ける。（但し女性用は打合せ逆とする）

ウ 脇ポケット

左右の両脇に斜め切替えポケットを各 1 個付ける。ポケット口の長さ 160 mmとし、口の上下端に閉止めをする。口には 6 mm幅のコバステッチを掛ける。向こう布の表地端は、袋布に縫合わせる。袋の周囲は、袋縫いをする。右ポケットの袋布に小袋を縫付ける。

エ 後

左右のウエストに各 1 本のダーツを取り、外側に片倒しをする。後中心の尻縫いは割縫い、裁ち目はオーバーロック始末をする。脇線と後中心の間（中心寄り）にベルト付け下より裾まで切替え、脇側へ 6 mm幅ステッチを掛ける。後身を切替えた中心側身頃の太腿辺りを斜めに切替え下裾側へ 6 mm幅ステッチを掛ける。ダーツ、後身・内腿切替え部は臀部の突張り感を軽減させるため必要とする。

オ 後ポケット

左右後ろに口幅 10 mm、口の長さ 145 mmの片玉縁ポケットを各 1 個つける（玉縁作りミシン可）。ポケット周囲は、コバステッチを掛け、口の両端は閉止めをする。ポケットのみ穴かがり釦止めとする。

カ 腰帯

マーベル付きとする。前両端は内側に折曲げステッチで押さえる。ファスナー上の前中心に前カンを付ける。

キ ベルトループ

ベルト通し幅 56 mm、幅 20 mmのものを前タック位置、脇、後ダーツ位置、後 2 箇所、合計 8 箇所付ける。ループ幅の下端はステッチを掛ける。

ク シック

下前の持ち出し布下へ棒シック布を縫い代端に縫い止める。股破れのないよう特別な処置を施すこと。

ケ 裾

裾は、シングル。オーバーロックのハーフ始末とする。

コ 脇縫い

後ろへ片倒しとし、6 mm幅ステッチをかけ、裁ち目はオーバーロック始末とする。

サ 内股縫い

縫い割し、裁ち目はオーバーロック始末とする。

シ 片布・品質表示・制菌認証マーク・警告表示

片布を左脇ポケット裏面中央に縫付け、その下に品質表示・制菌認証マークを縫付ける。警告表示を右脇ポケット裏面中央に縫付ける。

ス デザイン

人間工学に基づく立体構造とする。

救急服男性上衣サイズ表

(単位：c m)

	胸囲	着丈	肩巾	半袖丈	ネック
0号	106	80	46	23	40
1号	110	81	47	24	40
2号	114	83	48	26	41
3号	118	85	49	26	42
4号	120	81	50	24	43
5号	124	83	52	25	45
6号	130	83	55	26	46

救急服男性下衣サイズ表

(単位：c m)

部位 サイズ	ウエスト	ヒップ	渡り幅	裾幅
A1	70	98	33.5	20.5
A2	73	100	33.5	20.5
A3	76	103	34.5	21
A4	79	106	34.5	21
A5	82	108	35	21.5
A6	85	111	35.5	21.5
A7	88	114	36.5	22
B00	82	110	36.5	23
B0	85	113	37	23
B1	88	116	38	23.5
B2	91	119	38	24
B3	95	122	38.5	24
B4	100	125	39	24
B5	105	128	40	25
B6	110	132	41	25

救急服女性上衣サイズ表

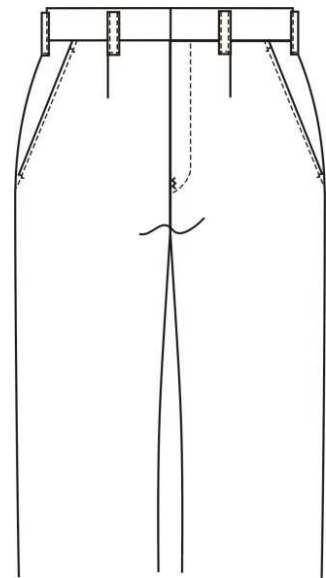
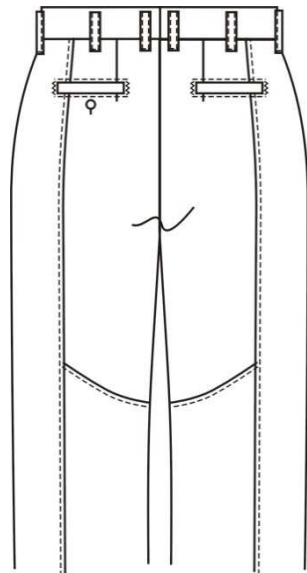
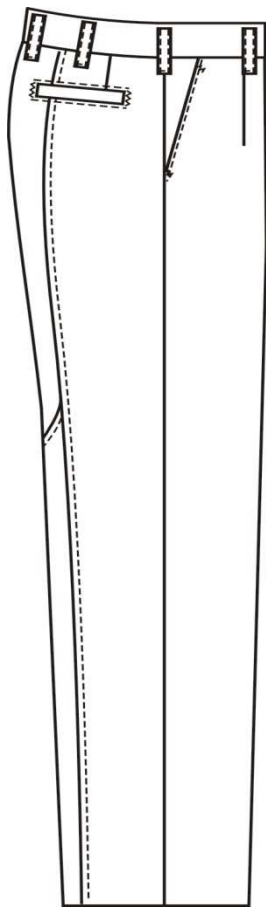
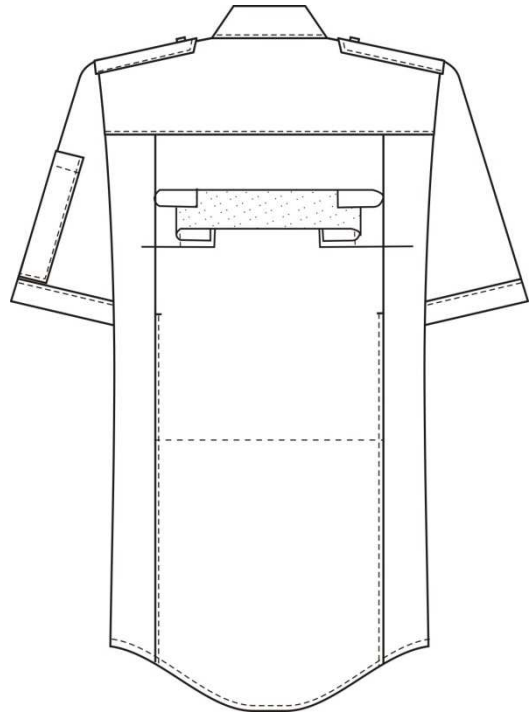
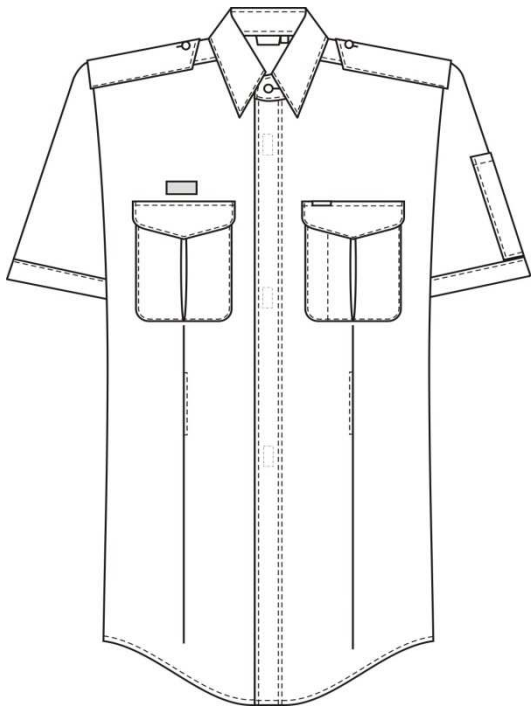
(単位：c m)

	胸囲	着丈	肩巾	半袖丈	ネック
7号	96	72	42	23	40
9号	100	72	43	24	40
11号	104	74	44	24	40
13号	108	76	45	25	40
15号	112	77	46	25	41
17号	116	78	47	26	41
19号	120	78	49	27	41
21号	125	78	51	27	42
23号	130	78	53	28	42

救急服女性下衣サイズ

(単位：c m)

部位 サイズ	ウエスト	ヒップ	股上	裾幅
5号	61	94	24.5	21
7号	64	97	25	21
9号	67	100	26	21.5
11号	70	103	26	22
13号	73	106	27	22.5
15号	76	109	27	23
17号	79	112	28	23.5
19号	84	117	28	24
21号	89	122	29	25
23号	94	127	29	25
25号	99	132	29	25.5
27号	104	137	29	26
29号	109	142	29	26



仕 様 書

救助服

西はりま消防組合

1 概要

この仕様書は、西はりま消防本部において調達する救助服について必要な事項を定める。

2 条件

- (1) 本年度の救助服の製作に要する費用は、当初に契約した見積額のとおりとし、追加支出は一切認めない。
- (2) 使用素材はすべて良質なものを使用するものとし、特に紡績糸は糸ムラ、織りキズ、ムラなどないもの、また、織上りは均正で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。
- (3) 縫製については、各部の縫い合せ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう十分配慮し行わなければならない。又仕様書に記載なき事項についても良心的に対処すること。
- (4) 色相においても当本部の標準指定色にあわせる事とし、色差は仕様書記載の色相に対して ($\Delta 0.6$ 以内) であること。
- (5) 製品の納入に際しては、1着ごとにプレスした後ビニール袋により包装し、氏名、サイズが容易に確認できるようにし、名簿に基づき、署ごとに分けて納品すること。
- (6) この仕様書に疑義を生じたときは、係員の指示を受けなければならない。
- (7) 採寸については、各人によりサイズを決定するものとする。サイズ規格外（特寸者）のサイズにも対応すること（ズボンについては股下の寸法は各人の体型に合わせて仕上げること。）
- (8) 仕様書内縫製上の数値は全て約表記とする。

3 型式

- (1) 上衣（冬品番 (株)イマジョー NX4040T0)
立体裁断及び立体縫製、前立てファスナー（衿先ジップアップ）、肩章付、脇下ベンチレーション、裾シャツ式、左右胸両玉縁ファスナー付きポケット、右胸階級台面ファスナー付き、袖口ファスナー水かき付き、前・背ヨーク・肘部刺し子加工、背中プリント、左胸刺繍
- (2) ズボン（冬品番 (株)イマジョー NX4040P0)
立体裁断及び立体縫製 前立てファスナー、ベルトループ5本付き、両サイド斜めファスナー付アウトポケット、上部・膝・股下部刺し子加工

4 表生地

- (1) 種類（別紙参照）
東レ NX4040R（C／＃ブライトオレンジ）

防汚性難燃ストレッチツイル

(2) 混紡率

メタ系アラミド（ノーメックス）	94%
パラ系アラミド（ケブラー）	4%
ポリウレタン	2%

導電性繊維混入 防汚加工

(3) ストレッチ性

13%以上

5 条件

- (1) 針数は 30 mm間に飾り・刺し共に 13 針以上とすること。
- (2) 縫製糸は、東レノーメックスオレンジを使用すること。
- (3) 縫製の糸調子は上下共ツレ・タルミのないようにし、返し針を完全にすること。
その他不明な点については、担当課と協議すること。

6 縫製要領

(1) 上衣

ア 衿

裏衿腰部分にステッチを 8 本かけ、衿腰より衿端にはジグザグステッチをかける。

表衿と縫い合わせ、周囲にダブルステッチをかける。衿・前端にファスナーを前身頃から続けて付ける。裏衿側は突合せとし、ファスナーのムシを見せないように付け、表衿側も顎部保護の為、ムシを見せないようにして付ける。

イ 前身頃

裾口から 150 mm程で切り替え表地を 2 枚重ねし、刺し子加工する。前立ては見返しと縫い合わせる時、ファスナーを付ける。表面は突合わせとしファスナーのムシを見せないように付け、見返し側も同様とする。ファスナー端の見返し側よりダブルステッチを裾までかけ、下ファスナー止まり位置に冑止めをする。袖ぐり、脇切り替え部分にはダブルステッチをかける。

ウ 胸ポケット

左右の胸に口の長さ 140mm の両玉縁、スライダー付のポケットを付ける。口の周囲に 2mm 幅のステッチをかけ、口の両端は返し縫をする。袋布は表地とし、身頃の裏側に当て周囲は二つ折りし、2mm 幅と 6mm 幅のダブルステッチを表面まで出るように縫い止める。左胸ポケット内部脇側に 40 mm×50 mmのペン差し用共地ループ（2 本用）を縫い付ける。

エ 左右胸台座

右胸ポケット位置より約 10 mm上部に 25mm 幅×長さ 40mm の階級章用面ファスナー

(メス)を取り付ける。左胸ポケット位置より約 10 mm 上部に幅 25mm×長さ 40mm の面ファスナー (メス) を取り付ける。その上に指定の刺繍をする。

オ 肩章

幅約 50mm、長さ約 130mm、衿ぐり側は剣型の釦止めとする。後身頃に挟み縫いし、縫い込みから約 40 mm の位置でクロスステッチをかけ、前身頃後身頃のステッチ沿いに縫い付ける。

カ 後身頃

後身頃は前身頃と縫い合わせ、脇側は脇身頃と縫い合わせダブルステッチを後身頃側にかける。

衿付位置から幅約 250 mm まで表地を 2 枚重ねし、刺し子加工する。

キ 脇身頃

脇身頃下側布と袖下続きの上側布を袖下で重ね、上下を離し前後脇線で縫い合わせ、ベンチレーションホール(通気口)を設ける。脇下側布の上端先はオーバーロックの二つ折り始末しダブルステッチをかけ、上側布の下端先は三つ折り始末しダブルステッチをかける。脇身頃と袖の縫い合わせは両方袖側にダブルステッチをかける。

ク 袖

袖下縫いは脇線から続けてインターロック始末、又は地縫いとオーバーロック始末とする。カフス付け内側始末は、折り曲げ、カフス付け側にコバステッチと 6 mm 幅のダブルステッチをかける。袖開きはファスナー仕様とし、袖口先端まで水かきを付ける。立体を持たせる為に袖付け根後部にダーツをとることとする。

ケ 肘刺し子

左右の肘にダーツを取った当て布をダブルステッチで縫い止める。

コ 袖口

2 枚袖のカフス幅 60mm 付きとし、袖口に 2 本タックを取り、両玉縁にて長さ約 170mm の金属ファスナーを設ける。カフス先までファスナーを付け、周囲はコバステッチで押さえる。ファスナー開き部分の内側 (ファスナー下) に表地で水かきを付ける。

水かきはカフス先端から開き止まりまでとし、水かきの口は三つ折り始末しステッチで押さえる。

シングルカフス付け内側始末は、折り曲げカフス付け側と袖口側にダブルステッチをかける。

サ 裾

シャツ型とし、三つ折り始末しステッチで押さえる。

シ 片布・サイズ表示・品質表示

片布は左胸ポケット位置の身頃裏面に付け、下にサイズ表示・品質表示を挟む。

- ス 衿吊り
後中心衿ぐりに挟む。
- セ 警告表示
右胸ポケット位置の身頃裏側に付ける。
- ソ バックプリント
後身頃に指定した文字をシルクスクリーン印刷する。

(2) ズボン

ア 前

ウエスト続きの身頃とし、ウエストから膝上までと膝下で2ヶ所切り替え、表地2枚を重ね、刺し子加工をする。ファスナー下から裾まで切り替え、前身頃側にダブルステッチをかける。

イ 前立て

左上前立てに芯を貼り、約40mm幅と6mm幅の飾りステッチで押さえ左上前ファスナー開き止まり位置は小丸にし、ミシン閉止めをする。見返し奥の裁ち目は芯と共にオーバーロック始末をする。右前ファスナー下に持ち出し布を付け、身頃と持ち出し布のはぎ目にファスナーを挟みコバステッチをかける。持ち出し布は表裏共に表地とし、見返し側の奥端はオーバーロック始末をする。

ウ 膝当て

表地2枚を重ね刺し子加工し、周囲をダブルステッチで付ける。身長により膝位置が変わるため85cmハーフ、95cmハーフの2種類で膝当ての位置を対応すること。

エ 内股

前ファスナーから前切り替え線の膝上位置までの上部に刺し子加工をした布をダブルステッチで付ける。

オ 後

後身はウエストより尻部で切り替え刺し子加工しダブルステッチで押さえる。尻部より裾まで切り替え、ダブルステッチで押さえる。

カ ウエスト

ウエスト内側はマーベルト仕様とし、上端にステッチをかけ、更に下へ約35mm幅のステッチをウエスト一周にかける。

キ ベルトループ

ベルトループ幅約90mm、通し幅約60mm、ループの両端にコバステッチをかける。左右の前切り替え位置・後切り替え位置に4本付け、上端は約5mm下げて縫い、下側はダブルステッチで身頃に縫い止めし、両角を閉止めする。

後中心のループ幅約100mm、通し幅中心で約60mm、両端にコバステッチをかけ下端は剣先型とする。上端は約10mm下げて縫い、下側は剣先に合わせて三角形にコバ

ステッチで縫い止める。

ク アウトポケット

左右脇アウトポケットの幅 210 mm、長さ 220 mm、左右にマチ布を付ける。ポケット口はファスナー開き 170 mmの突合せとし、玉縁の上下端はコバステッチをかける。ただしハーネスを付けた際にでも使用できるように、ポケット口は斜めとし、ファスナーは閉じて尻側とする。ポケット付け位置も上記を考慮し、ポケット底辺を膝横のハギに合わせる。

四角を閉止めする。

ケ 脇

前後身頃の切り替え部分、膝上あたりまで刺し子加工を施した布をダブルステッチで付ける。

コ 尻縫い

左後身側へ片倒しをし、ダブルステッチをかける。

サ 裾

裾はシングル・ヘム幅 35 mmのミシンタタキ仕上げとし、内周に絞り紐を付け、かかとへの引っ掛けゴム付きとする。

シ 片布

片布は左脇アウトポケット位置の裏側に付け、下にサイズ表示・品質表示を挟む

ス 警告表示

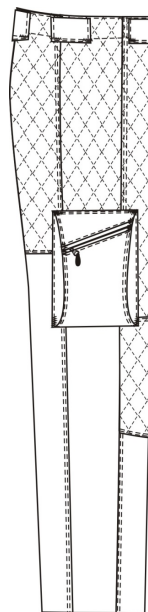
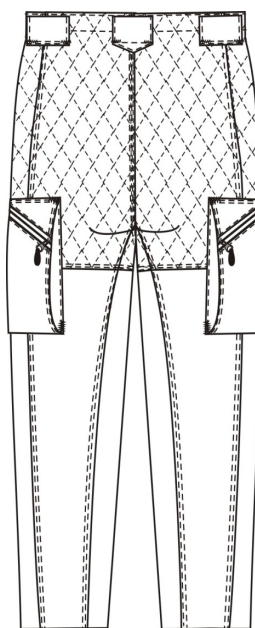
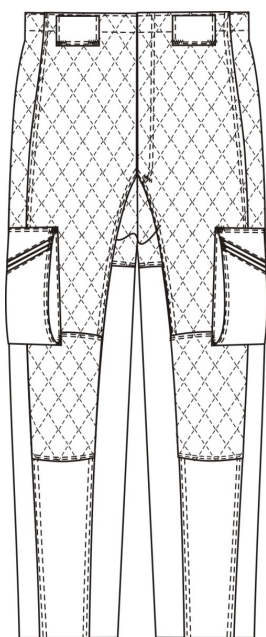
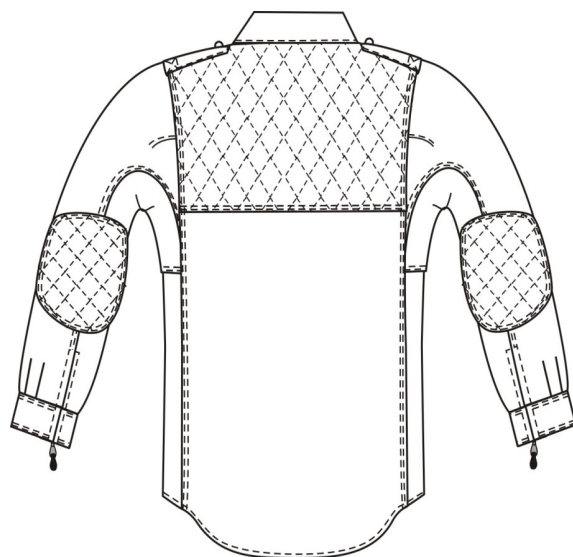
右脇アウトポケット位置の裏側に付ける。

7 寸法表

(出来上がり寸法 単位：cm)

上衣	着丈	胸囲	衿丈	ズボン	ウエスト	ヒップ	わたり幅	股下
SS	73	97	77	SS	71	96	32	79
S	73	101	79	S	75	100	33	79
M	75	105	81	M	79	104	34	79
L	77	111	84	L	83	108	36	79
LL	79	117	86	LL	87	112	37	79
3L	81	123	89	3L	91	116	38	79
4L	81	129	91	4L	95	120	40	79
5L	81	135	94	5L	99	124	41	79

8 図面



生地規格表（冬用）

項目	数 値		試験方法
混紡率(%)	メタ系アラミド 94 % パラ系アラミド 4 % ポリウレタン 2 % 導電性繊維混入		JIS L 1030
使用糸番手	経 40/2 緯 40/2		JIS L 1096
組 織	2/1綾織(ツイル)		JIS L 1096
密 度 (本/254cm)	経 80本以上 緯 65本以上		JIS L 1096
重 量(g/m ²)	200以上		JIS L 1096
引張強力(N)	経 1300以上 緯 1000以上		JIS L 1096 ラベルドストリップ法
引裂強力(N)	経 65以上 緯 55以上		JIS L 1096 ベンジュラム法
寸法変化率	経 ±2.0%以下 緯 ±2.0%以下		JIS L 1096
伸 長 率	13%以上		JIS L 1096 B法
色 相	色相(H) 9.6R 明度(V) 5.2 彩度(C) 8.7		JIS Z 8721
	変退色	汚染	
耐光堅牢度	3級以上	—	JIS L 0843
洗濯	4級以上	4級以上	JIS L 0844 A2法
汗	4級以上	4級以上	JIS L 0848 A法
摩擦堅牢度(乾)	—	4級以上	JIS L 0849 II形
ピリング	4級以上		JIS L 1076 A法
残炎時間	0秒		JIS L 1091 A4法
余じん時間	1秒以下		
炭化距離	10cm以下		
LOI値	29.0以上		JIS K 7201 B1法
摩擦帯電電荷量	7μc/m ² 未満		JIS L 1094

仕 様 書

Tシャツ

西はりま消防組合

1 型 式

スタンダードネックとする。

2 素 材

ポリエステル100%（裏面ハニカムメッシュ）

吸汗速乾性とする。（同等品もしくはこれ以上の素材可）

3 生地色

濃紺色とする。

4 プリント

左胸部に下図のとおり、白色、ゴシック体で下記の図のとおり名称をいれる。

（文字サイズ等は消防本部吏員にて確認）

5 ネーム

ネームは、前面左下部（●●）に入れる。

（名前一覧は別途配布、印刷位置と同姓の場合は別途指示）

6 サイズ

下記の表と異なる場合は、見積書提出時にサイズ表を同封とする。

サイズ	S	M	L	LL	3L	4L	5L
着丈	68	70	72	74	76	76	78
胸囲	96	100	104	108	112	116	120
袖丈	22	23	24	26	27	27	28



仕 様 書

帽子・靴・手袋・その他の物品関係

西はりま消防組合

この仕様書は、西はりま消防組合消防吏員の服制に関する規則基準に基づき、採用する帽子・靴その他の物品関係について規定する。

1 帽子関係

(1) 冬制帽（男性）

色：濃紺

製式：円形とし、前ひさし及びあごひもは、黒色とする。

あごひもの両端は、帽の両側にいて金色金属製消防章各1個で留める。

き章：銀色金属製消防章をモール製金色桜で抱擁する。

周章：帽の腰まわりには、黒色のななこ織を巻き、消防司令以上の場合は、蛇腹組金線及び蛇腹組黒色線を、消防司令補の場合には、蛇腹組黒色線を巻くものとする。



〔例 現物〕

(2) 冬制帽（女性）

色：濃紺

製式：円形とし、ひさしの後は帽の腰まわりに引き上げる。

あごひもは丸ゴム（黒）とし、両端を帽の両側に留める。

き章：銀色金属製消防章をモール製金色桜で抱擁する。

周章：帽の腰まわりには、黒色のななこ織を巻き、消防司令以上の場合は、蛇腹組金線及び蛇腹組黒色線を、消防司令補の場合には、蛇腹組黒色線を巻くものとする。



〔例 現物〕

(3) 夏制帽 (男性)

色：紺

製式：円形とし、前ひさし及びあごひもは、紺色とする。

あごひもの両端は、帽の両側において金色金属製消防章各1個で留める。

き章：銀色金属製消防章をモール製金色桜で抱擁する。



〔例 現物〕

(4) 夏制帽 (女性)

色：紺

製式：円形とし、ひさしの後は帽の腰まわりに引き上げる。

あごひもは丸ゴム (黒) とし、両端を帽の両側に留める。

き章：銀色金属製消防章をモール製金色桜で抱擁する。



〔例 現物〕

(5) 保安帽

色：白

製式：スターライト工業(株)製 PC-1型

北川工業(株)製 PU2-HR3J-L1

ミドリ安全(株)製 SC-MPCFRA (KP付)

正面に消防章、周囲に反射テープ及び周章取付、「西はりま消防」を表示する。



〔例 現物〕

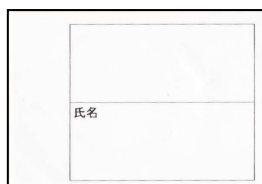
(6) アポロキャップ

ア 型式

丸ワイド型 前章 月桂樹ネイビー糸 (品番ミズノ MC002)

イ 材料

- (ア) 表生地 フーパイ紡織 梅花メッシュ 92Z (M-18・ネイビー)
(イ) 裏生地 #838 (前裏を補強すること)、トリコットのり付き黒 (裏を補強すること)
(ウ) 底表生地 本体と共生地
(エ) 底裏生地 本体と共生地
(オ) 底芯 黒 ポリエチレン 2.5 mm厚 Y芯 天地 30 mm以上
(カ) テープ テトロン 黒
(キ) 穴かがり 同色の天穴 6個 9mm
(ク) 刺繍裏隠し 刺繍をした後に裏の刺繍が見えないようにトリコット等で隠す。
(ケ) アジャスター YKK製 プラスチック 黒
(コ) 汗止 フィールドセンサー巾 4 cm (吸汗速乾素材) 黒
中芯有り 裏 ポケットメッシュ黒
(サ) 天釦 芯プラスチック 共生地で包む。
(シ) 前立て #7509 ナイロン 100%
(ス) 片布



- (セ) 刺繍文字 別記デザイン画参照

ウ 仕様

- (ア) レンゲ 6枚上方に穴かがりを入れる。
(イ) 丸ワイド型前身 1枚とレンゲ 6枚を縫い合わせ前立てを付ける。
(ウ) 全ての縫目をテープで包む。
(エ) 底は表・裏共に共生地、間にサンド生地で、底芯を包みミシンで1本ステッチを入れる。
(オ) 後方に縦幅 1.5 cmのベルトを本体と共生地で作し、アジャスターの一方を取り付け、一方を帽子本体に取り付ける。
(カ) 天釦を天井部分に穴をあけ打ち込む。

エ サイズ表

(単位：cm)

S	M	L	LL
54~56	56~58	58~60	60~62

※上記以外のサイズでも対応可能

オ デザイン画



2 靴関係

(1) 短靴 (男性用)

色：黒

製式：ミドリ安全 MG1310Nブラック静電



〔例 現物〕

(2) 短靴 (女性用)

色：黒

製式：ミドリ安全 H-950L ブラック



〔例 現物〕

(3) 半長靴

色：黒

製式：ミドリ安全 安全靴 [ラバーテック] RT940



〔例 現物〕

(4) 訓練靴

色：黒

製式：ミドリ安全 静電安全靴 RT731F消防静電P-4



〔例 現物〕

(5) 編み上げゴム長靴

ア 概要

帝国繊維製ガードランナーとする。装着時は、靴ひもにより足首部分及び脛部分を締めつけられると同時にファスナーにより容易に着脱出来る構造とする。

イ 長靴の条件

この長靴は、JIS T 8101(安全靴)の規格における総ゴム製の安全靴を基準とし、さらに消防活動に適した機能と強度を付加した性能を有するとともに、耐久性に優れ、傷、斑点、汚れ及びその他著しく外観や性能を損なうような欠点のないものとする。

ウ 仕様

各構成品の材料は、表1による。

表1

部 品 名		材 料
胴ゴム・甲ゴム		配合ゴム 厚さ：1.0mm 以上
表底	アウトソール	配合ゴム
	ミッドソール	合成配合発泡ゴム
先しん補強布		スフモス 116 本生地
先 し ん		JIS T 8101 (安全靴) に基づく鋼製先しんとする。
裏 布		スフ ライトリヤス # 30×1200 本織り または同等品
中 底		リサイクルポ リエステル (不織布) 厚さ 1.5mm 標準
踏抜き防止板		特殊スチールプレート 厚さ0.45±0.05mm
かかと部の 衝撃吸収材		ゼリー状の樹脂をビニールで覆い成形したものに、レザーボード (厚さ約 3mm) を貼り合わせたもの。厚さ：9.5±1.0mm
中 敷		C A S S インソール(クロスアチサポートシステム)不織布の全敷タイプ
突刺防止布		パラ系アラミト 繊維100% フェルト KE-201 突刺抵抗 147N {15Kgf} 以上 ※測定条件 突刺し抵抗：速度 500mm/min (ψ4.2mm 丸釘使用)
は と め		アルミニウム # 18 座付 黒天 または同等品
靴 ひ も		黒色ナイロン製 長さ160±0.5cm
ファスナー (サイズ :26cm)		合成樹脂製コイルファスナー 約10cmのつまみひも付き (長さ：26±0.5cm)
反射テープ		黄色
表 示 布		綿帆布11号 または同等品

エ 寸法

靴のサイズは、JIS S 5037に規定するEEE（男子用）とし、表2による。

また、完成品の寸法は、表2及び表3のとおりとする。

表2

サイズ (cm)	24.0	24.5	25.0	25.5	26.0	26.5	27.0	27.5	28.0	29.0	30.0
後丈 (mm)	320	330			340						

※後丈の許容差は±5mmとする。

表3 (サイズ 26.0cm標準)

(単位：mm)

足首回り	ふくらはぎ回り	履き口回り
310	350	370

※許容差は±10mmとする。

表中の数値は各部の周長の外寸法とし、測定位置は概要図1による。

また、他のサイズのものについては、表中の数値を基準として各サイズにより標準的な数値を増減するものとする。

オ 構造

(ア) 長靴は概要図1を標準とするほか、裏付で、爪先に鋼製先しんを装着し、圧迫及び衝撃に対し着用者の爪先を保護すると共に、靴底周辺部、くるぶし部、及び甲部に突刺防止用のフェルトを巻き込み、靴底には踏抜き防止板を入れたものとする。

(イ) 爪先の甲部分の上部に補強用の先ゴムを貼り付け、先ゴム表面にローレットをかける。

(ウ) 先しんの内側から後端部内側にかけては、布及び緩衝性のあるゴム等で内張りする。特に後端部の内側は、補強する。

(エ) 胴ゴム外側横に切り込み（水除け付き）を入れ、ファスナーにより迅速な装着ができる構造とする。

(オ) 胴ゴム前側に切り込み（水除け付き）を入れ、靴ひもにより、甲部分、脛部分及び足首部分を着用者に合わせ締め付けられる構造とする。

(カ) 中底は、環境問題を考慮し、リサイクルポリエステルを利用した、保型性が良く、耐摩耗性、吸水拡散効果のある材料とし、かつ、ミッドソール(発泡ゴム)のクッション性、履き心地を妨げないものとする。

(キ) 表底は、合成ゴムによるアウトソールとミッドソールで構成し、ミッドソールにはクッション性に優れた発泡ゴムを使用し、これを強度や耐火性のあるアウトソールで覆う直接加硫圧着式製法(V式)による一体成形の二層構造で、概要図2によるものとし、接地部は表底は滑り止め効果のある形状とする。

(ク) 踏み込んだ時並びに階段及びはしごの昇降時に表底にある山が、変形を起こ

しにくいものとする。

- (ケ) 一体成形の二層構造から、ミッドソール(発泡ゴム)の断熱効果により消火活動時等において、接地面(床面)の熱を足裏に伝えにくい構造とする。
- (コ) 踏抜き防止板は、足裏をほとんどカバーすることにより、着用者の釘等による踏抜き事故から足を保護するものであり、さらにアウトソールとミッドソールの中間に一体成形(装着)することにより、発泡ゴムのクッション性・履き心地を損なわない構造とする。
- (サ) かかと部に衝撃吸収材を用いることにより、歩行、走行、飛び降り等に伴い足にかかる衝撃エネルギーを吸収し、着用者の足を保護するものであること
- (シ) 中敷は、不織布の全敷タイプ(CASSインソール)とし、クッション性、吸湿性、放湿性があり、踏まず部の中骨にクロスアーチサポートを施し、着用者の疲労を軽減する履き心地の良いものとする。
- (ス) 色は全体を黒色とし、先ゴム、筒口テープ及び靴底と胴部分の接合部分を黄色とする。
- (セ) 背部に先ゴム部分等と同系色(黄色)の反射テープを取り付ける。

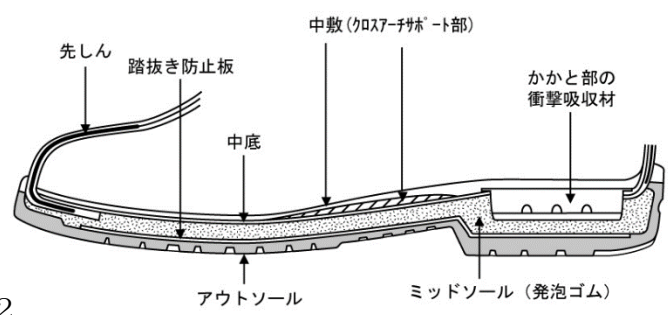
カ 性能

靴の性能はJIS-T-8101要求項目に合格するものとし、下記表4に適合するものとする。

表4

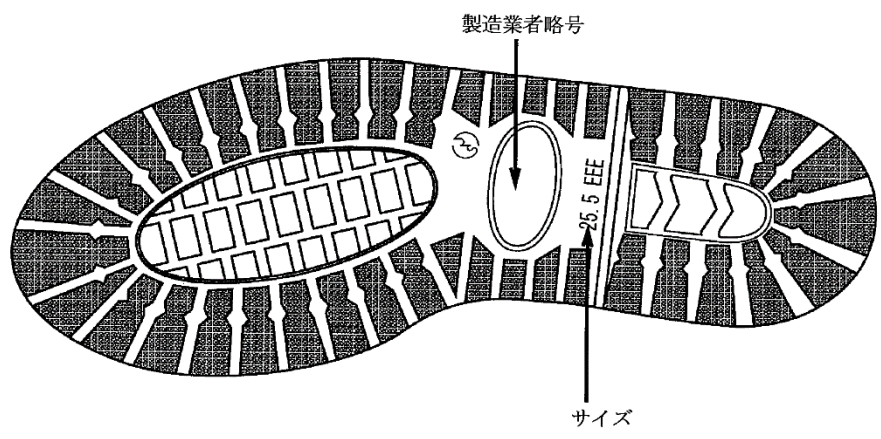
耐衝撃性 (Sタイプ)	70J (7.1kgf / m)以上
耐圧迫性 (Sタイプ)	10KN (1.020kgf)以上
表底剥離抵抗	300N (30.6kgf)以上
耐踏み抜き性	1100N (112.2kgf)以上
踵部衝撃エネルギー吸収性	20J (2.0kgf / m)以上
漏れ防止性	8Kpa / 3秒以上
熱伝導性	10kg 荷重 200°C × 10 分、中敷き表面 40°C以下

【概要図】長靴-1



【概要図】長靴-2

表底意匠



3 手袋関係

(1) 革手袋

製式：ユアサグローブ製 C340W (牛革)



[例 現物]

(2) ケブラー手袋

ア 概要

この防火手袋は、原則として ISO 規格 (ISO11999-4 消防隊員用個人防護装備) の「防火手袋」に準拠したものであること。

イ 品番

ISF-KC294NV

ウ 構造

- (ア) 甲側、平側のアラミド繊維には耐切創性・耐炎性を持たすこと。
- (イ) 装着時にねじれ等が生じないものであること。
- (ウ) 通常の使用で生地及び縫い目に、とびやほつれが生じないものであること。
- (エ) アラミド外層と防水層の間に水が溜まることを防ぎ、また、水が溜まることで生じる寒さ軽減のため、中層の透湿防水フィルム全面を外層アラミド繊維に圧着で接着させ、外層と防水層を一体化させること。
- (オ) 脱着時に内層が飛び出さないように、内層と中層防水層をつなぎ合わせること。
- (カ) 水濡れまたは洗濯(5回以上)しても、硬くならない、縮まない牛革を補強材に使用すること。

エ 縫製条件

- (ア) 針数は 25mm 間に 8 針以上 12 針までとする。
- (イ) 縫い代は、1.5~2.5mm の範囲とする。
- (ウ) 縫い始め、縫い終わりは返し縫いをし、完全に留めたものであること。

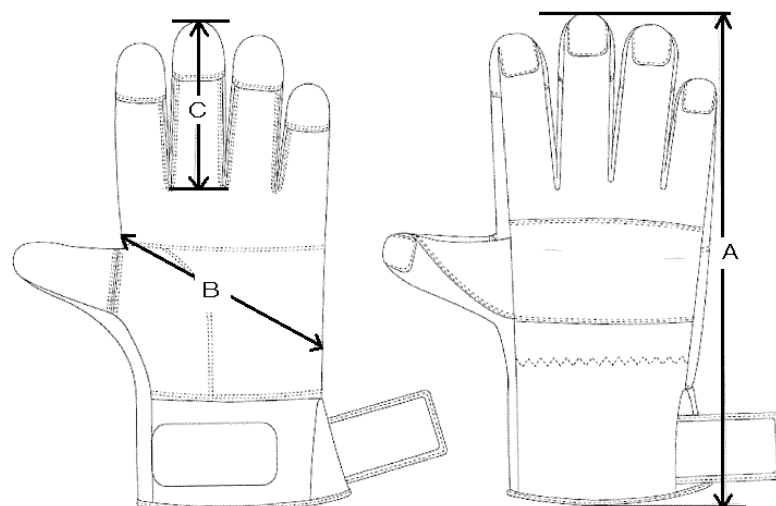
オ 縫製方法

- (ア) 甲側補強部分は、二本ステッチで縫うこと。
- (イ) 平側補強及び指の側面(開閉マチ)は立体的になるように縫うこと。
- (ウ) 全ての指の指先にロールアップ縫製をすること。
- (エ) ガンカット縫製であること。

カ 素材・規格

部品名	材料及び規格	色相
本体外層（甲側） 甲補強・袖口ベル	アラミド繊維交編ニット（ダブルニット）	紺色
本体外層（平側）		黄色
中層	透湿防水フィルム	—
内層	綿ニット	白系
平補強及び指先	牛セラミック入りレザー0.7mm～0.9mm（国産なめし革使用、	茶色
甲絞り	帯ゴム（幅 14mm）	指定無
面ファスナー （袖口開閉止め）	ベルト側：フックテープ 本体受側：ループテープ	黒色
縁取りテープ	表面：ポリウレタン 100% 基布：ナイロン 100%	黒色
縫製糸	本体：アラミドスパン糸（#30）	黄色
	面ファスナー、手首絞り、縁取りテープ：ポリエステル糸	同色

キ 形状



ク 寸法

（単位：mm）

	A	B	C
SS	248	243	93
S	258	253	97
M	269	264	100
L	280	275	105
LL	291	286	109
3L	303	297	113

誤差±5%

4 その他の物品

(1) 制服バンド (冬)

色：黒

地質：合成皮革

製式：前金具の中央に消防章をつける。

止金はバックル型とする。

(2) 制服バンド (夏)

色：紺

地質：ナイロンバンド (32 mm)

製式：前金具の中央に消防章をつける。

止金はローラー型とする。

(3) 活動服バンド

色：紺

地質：レンジャーバンド (48 mm・2穴)

製式：止金はピン型とする。

(4) 救助服バンド

色：オレンジ

地質：レンジャーバンド (48 mm・2穴)

製式：止金はピン型とする。

(5) 救急服バンド

色：白

地質：レンジャーバンド (40 mm・2穴)

製式：止金はピン型とする。〔例 現物〕



(1)



(2)



(3) 写真左 (4) 写真右



(5) 写真左

- (6) ネクタイ
 色：紺（金（消防記章入り）・オレンジストライプ入り）
 地質：ポリエステル



〔例 現物〕

- (7) ワッペン
 制服用（シリコンエンブレム）・・・①
 救命士用（フェルトエンブレム）・・・②



〔例 現物〕

①

②

- (8) 白手袋（式典用）
 色：白

- (9) 階級章
 ア) 樹脂製（裏面：マジック）
 イ) 布製（裏面：マジック）



〔例 現物〕

- (10) ヘッドライト
 製式：ペツル社製 ピクサ2 【E78 BHB2】

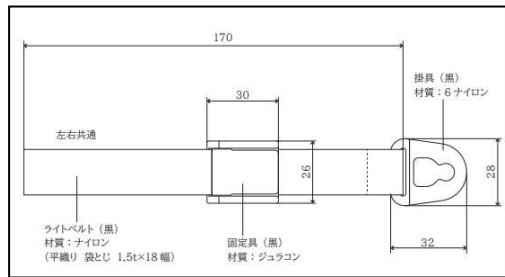


〔例 現物〕

(11) アタッチメントバンド

製式：北川工業製 FDX 2 防火帽ヘッドライト用ベルト

〔概要図〕



(12) ゴーグル

製式：山本光学製 YG-6000YCP (スプリングバンド)

保護ゴーグル (ヘルメット専用タイプ)



〔例 現物〕

(13) 墜落制止用器具

ア 概要

この墜落制止用器具は、原則として厚生労働省「墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン」に準拠したものであること。

イ 品番

藤井電工株式会社 SAF-0T521(ワンタッチバックル・カラビナ付)

仕 様 書

消防吏員雨衣

西はりま消防組合

1 型式

上下フード付（携帯袋付）

2 使用生地

（1）表生地

ナイロンタフター生地とし、生地総厚0.17mm～0.20mm程度を使用、耐水圧10,000mm以上、透湿度10,000g/m²・24h以上とする。

色合いは、オレンジとする。（同色色彩可。ただし、生地を担当者に提出し、確認を受けること。）

（2）裏生地

上衣及びズボンは、総裏付とし、ポリエステル（100%）を使用。ポリエステルメッシュとする。

3 上衣

前面ホック7ケ（襟元2ケ含む）、両サイド雨ブタ付ポケット2ケ、全面、背中及び袖口に3cm幅の反射テープを付ける。

袖口に雨の浸入防止のために袖ゴム又はマジックテープを付ける。

フードは、使用生地と同じものとする。

裾に調整紐（ポリエステル100%）を付ける。

襟元から裾にかけてファスナー（YKKファスナー）を取り付ける。

4 ズボン

丸ズボンで幅25mmの平ゴムを使用する。

ズボン裾口に調整可能ホックを付ける。

ズボン両足に3cmの反射テープを付ける。（取り付け位置については、業者決定後、指示する。）

5 寸法

S、M、L、LL、3Lのサイズとする。

サイズ詳細については、担当者との協議する。

上記サイズにないものにあつては、別注とする。

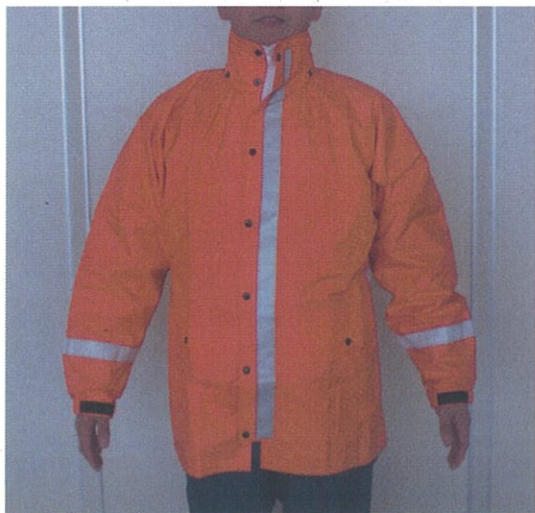
6 バックプリント等

バックプリントは、「西はりま消防本部／HYOGO」を二段にて、反射素材で入れる。

デザイン詳細については、別紙参照の上、事前に西はりま消防本部の承認を得ること。

雨衣 [例 現物] (にしはりましょうぼう)

雨衣 (上) 正面



雨衣 (上) 後面



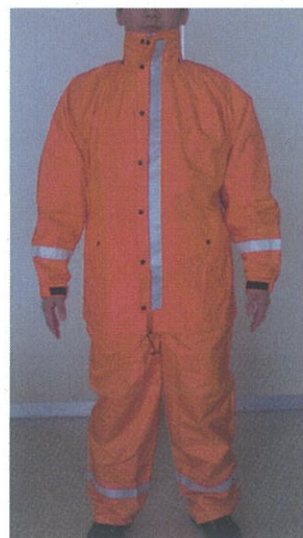
雨衣 (上) 側面
【フード着用時】



雨衣 (下)



雨衣 (上下着用時) 正面



仕 様 書

防寒衣

エミユファイター®
ウインドストッパーブルゾン
A-2013

西はりま消防組合

この仕様書は、西はりま消防本部（以下「当本部」という。）が採用する消防吏員用ブルゾンについて規定する。

このブルゾンは、インナー着脱可能な構造とし、アウターのみ使用時、ウインドストッパーの機能を有するものとする。

品 名：エミュファイター® ウインドストッパーブルゾン A-2013

1 使用材料

(1) 生地一般

ア 原糸は糸ムラ、番手ムラ、織ムラなど無い良質なものを使用するものとする。
イ 織り上がりは均整で、織キズ、糸節、汚れなど欠点の無いものを使用するものとする。

(2) 生地規格

ア アウター（表生地）

項 目	規 格	
品 名	ウインドストッパー®ファブリクス	
構 造	多孔質PTFEを基材とするフィルムにポリエステル布をラミネート加工した2層構造	
混 用 率	ポリエステル 100%	JIS L 1030 - 2
織 度	90±10dtex	JIS L 1096
組 織	平織	JIS L 1096
密 度	タテ>400/ヨコ>350 (本/10cm)	JIS L 1096
目 付	110±20g/m ²	JIS L 1096
寸 法 変 化	±3%以内	JIS L 1096 D 法
引 張 強 さ	タテ 600/ヨコ 300 (N/5cm)	JIS L 1096 ラベルストリップ法
引 裂 強 さ	タテ 15/ヨコ 15 (N)	JIS L 1096 シグナル法
耐水度 (初期)	>300 (kPa)	JIS L 1092 高水圧法
撥水度 (初期)	>4	JIS L 1092
透 湿 度	>800 (g/m ² ・h)	JIS L 1099 B - 2 法
通 気 度	<0.3 (cm ³ /cm ² ・sec)	JIS L 1096 フラジール法
色 相	ブラック	

イ インナー

項 目	規 格	
生 地	ポリエステル 100%	
組 織	トリコット	
中 綿	ポリエステル100% (ソロテックス®×エアロトップ®)	
中 綿 目 付	80g±10%/cm ²	

(3) 補助材料

	規 格	色 相	使用箇所
ファスナー	YKK 製 5CN T8 OR (止水ファスナー)	オレンジ	前立
〃	YKK 製 5CN F	黒	中衣止め

2 形状

ブルゾン型とし、脇ポケット2個、左腕部にペン差し付ポケット1個を取り付けること。

3 縫製

【アウター】

(1) 衿

衿幅は中央で約9cm、衿先9.5cmで飾りステッチ仕上げとする(台衿を含む)。

(2) 脇ポケット

表生地に芯入りの雨蓋付切りポケットとし、押しホック1箇所止めとする。雨蓋裏側はオレンジ配色とすること。

(3) 前身頃

両前中央に止水ファスナーを衿上部まで挟み縫いする。止水ファスナー色はオレンジとすること。

(4) 後身頃

後身頃は1枚ハギとする。

(5) 袖

袖口は約6cmのリブ素材とする。左袖には、横8cm×縦14.5cmの貼りポケットを縫い付け、左横側をファスナーにより開閉出来る構造とする。貼りポケットの上にペン差し用として横約6cm×縦約13cmの共生地を重ね縫いし、中央にステッチをかけること。

(6) 肩章

巾は約5cmとし、端を袖つけの縫い目に縫い込む。先端は釦止めとする。

(7) 裾まわり

表生地で中心部より約6cmのところまで左右表生地を使用し、それ以外は約6cmのリブ素材による絞り構造とする。

(8) 片布

氏名片布を取り付ける。

(9) その他

インナー着脱用として、前合せ部にファスナー、衿付近にループを縫い付けること。

(10) 背文字

背文字「西はりま消防本部 / H Y O G O」を二段にて入れること。
デザイン詳細については事前に当本部の承認を得ること。

【インナー】

(1) 形状

袖付とし、中綿には「ソロテックス®」を使用する。

(2) 片布

氏名片布を取り付ける。

(3) その他

アウター着脱用のファスナー及びドット釦を設けること。

4 寸法

(単位：cm)

	着 丈	肩 幅	袖 丈	胸 囲
S	62	47	56	114
M	64	51	58	122
L	66	53	60	130
L L	68	55	62	138
L L L	70	57	64	146

【概要図】

